

6 案内標識等の整備

【本章の概要】

本章では、案内標識等の整備について、対象とする案内標識等の役割と種類を明確化し、「案内」、「指示」、「警戒」の3種類の案内標識等の仕様、設置基準について記載する。

本章の構成は、以下の通りである。

6.1 案内標識等の整備方針

本節では、案内標識等整備の基本的な考え方を提示するとともに、本ガイドラインにおいて対象とする案内標識等の種類と役割について記載する。

6.2 案内標識等の整備基準

本節では、案内標識等の配色やフォント、設置位置等の規格について記載する。

6.3 各案内標識等の設置基準等

本節では、各案内標識等の規格や役割、設置基準を個別に記載する。

6.1 案内標識等の整備方針

- ビギナーや当地域を初めて訪れたサイクリストであっても、安全に安心してサイクリングを楽しむことができるよう、コース案内や注意喚起のための案内標識等の充実に取り組む
- 案内標識等については、外国人も含めたすべての人に伝わるよう、多言語化やルールがひと目で分かるユニバーサルデザインへの対応に取り組む

総合計画 「取組3. 案内標識等の整備」

6.1.1 基本的な考え方

(1) 設置箇所と種類に関する考え方

1) 安心して走行できるサイクリング環境の実現に向けて

a) 利用者に分かりやすい充実したコース案内

コースを初めて利用する人でも迷わないように、コース上の交差点や迷いやすい箇所にコース案内を設置する。

b) サイクリング関連施設・観光地への分かりやすい誘導

利用者が迷うことなく目的地に到達できるように、コース上に鉄道駅などの拠点施設や観光地への誘導案内を設置する。

2) 安全に走行できるサイクリング環境の実現に向けて

a) 危険箇所での注意喚起

自転車関連事故を防ぐために、自転車とクルマの双方に向けて、交差点や一般道との合流地点・歩行者が多い地点・自転車が車道を通行する区間等において、注意を促す案内標識等を設置する。

b) 自転車利用者に通行マナー・ルールを周知

自転車の危険運転を防ぐために、車道の左側通行や交差点の通行方法など、通行マナー・ルールを周知する案内標識等を設置する。

サイクリストどうしの挨拶等の啓発に関する表示も行う。

(2) デザインに関する考え方

a) 誰にでも分かりやすいデザイン

伝えたい内容がひと目で分かるように、ピクトグラムやシンプルな語句の使用、外国語の併記を前提としたデザインとする。

自転車の速度や目線の高さを踏まえて、案内標識等の大きさや設置位置を設定するとともに、夜間の視認性にも配慮する。

b) デザインコードの設定

統一的なデザインを採用することにより、地域の景観形成に寄与するとともに、サイクリングコースであることを利用者に周知する。

(3) さらに価値を高めるための工夫

現地の案内標識等の設置においては、マップやウェブサイトと連携し、体系的なサイクリングコースの案内を実現する。

QRコードの設置により、どこにいても必要な情報にアクセスできる環境を実現する。

外国人利用者等を想定し、拠点施設等においてWi-Fiサービスの充実を図る。

6.1.2 案内標識等の適用範囲

案内標識等の適用範囲を以下のとおり設定する。

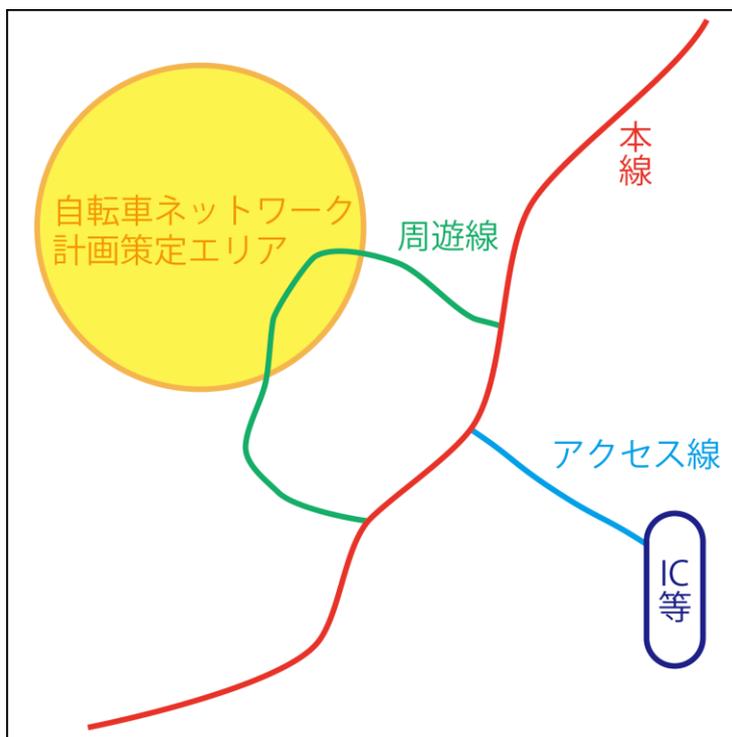


図 6-1 案内標識等の適用範囲のイメージ図

表 6-1 案内標識等の適用範囲

種別	本線	アクセス線	周遊線	自転車ネットワーク 計画策定エリア
矢羽根	水郷筑波仕様	国仕様	国仕様	国仕様
自転車ピクトグラム	水郷筑波仕様	国仕様	国仕様	国仕様
進行方向案内	水郷筑波仕様	水郷筑波仕様	水郷筑波仕様	-
注意喚起	水郷筑波仕様	水郷筑波仕様	水郷筑波仕様	-

〔種別〕	本線	: つくば霞ヶ浦りんりんロード (約 180km)
	アクセス線	: 拠点施設等から本線へのアクセス道路
	周遊線	: 本線以外に市町村が設定するサイクリングコース
	自転車ネットワーク計画策定エリア	: 自転車ネットワーク計画を策定しているエリア
〔仕様〕	国仕様	: 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン (H28 年 7 月)
	水郷筑波仕様	: 本ガイドライン

6.1.4 対象とする案内標識等

案内標識等は、以下の通り分類される。

本ガイドラインでは、法定外表示である「看板」及び「路面表示」を対象とする。

表 6-2 対象とする案内標識等

種類	定義
道路標識	道路交通法第 2 条第 1 項第 15 号に規定される、道路の交通に関し、規制又は指示を表示する標示板をいい、種類、様式等については、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令第 1 条～4 条により規定される。
道路標示	道路交通法第 2 条第 1 項第 16 号に規定される、道路の交通に関し、規制又は指示を表示する標示で、路面に描かれた道路鋸、ペイント、石等により路面に描かれた線、記号又は文字をいい、種類、様式等については道路標識、区画線及び道路標示に関する命令第 8 条～第 10 条により規定される。
看板	道路標識、区画線及び道路標示に関する命令に規定されていない、法定外の内容を表示する看板をいう。
路面表示	道路標識、区画線及び道路標示に関する命令に規定されていない、法定外の路面に描かれた表示で、ペイント、石等で路面に描かれた線、記号又は文字をいう。

出典:安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(国土交通省・警視庁, H24. 11), p5

なお、霞ヶ浦湖岸においては、河川区域につき設置が困難のため、看板ではなく路面表示を設置するものとする。



図 6-2 看板および路面表示の設置イメージ

6.1.5 案内標識等の役割と種類

(1) 案内標識等の役割

基本的な考え方を踏まえ、本ガイドラインにおける案内標識等の役割を以下に示す。

表 6-3 必要な案内標識等の役割

基本方針		機能※	役割	
安心して 走行できる	① 利用者に分かりやすい充実したコース案内 ② サイクリング関連施設・観光地への分かりやすい誘導	案内	● コース案内	<ul style="list-style-type: none"> ● コース上の交差点や迷いやすい地点において、サイクリングコースであること及び進行方向を案内 ● 現在位置、起点・目的地までの距離を案内 ● サイクリングコース周辺道路からサイクリングコースへの誘導案内
			● 目的地案内	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的地を予告、目的地までの距離を案内 ● サイクリングコース周辺の観光地を案内
			● コースマップ	● 拠点施設でサイクリングコースの全体像を案内
安全に 走行できる	③ 自転車利用者に通行マナー・ルールを周知	指示	● 横断方法指示	● 交差点の横断方法を指示（特に二段階右折）
			● 左側通行指示	● 左側通行を指示
	④ 危険箇所での注意喚起	警戒	● 自転車への注意喚起	<ul style="list-style-type: none"> ● 交差点手前での注意喚起（注意・徐行・とまれ） ● 自動車・歩行者・釣り人に注意することを促す ● 車止め手前での注意喚起 ● 曲り角での注意喚起・転落防止 ● 幅員が狭い区間・急勾配の区間での注意喚起
			● 自動車への注意喚起	<ul style="list-style-type: none"> ● 幅寄せしないことを促す ● 横断する自転車がいることを注意喚起
			● 歩行者への注意喚起	● 自転車に注意することを促す

※ 道路標識設置基準によると、道路標識は、案内・警戒・規制・指示の4種類の機能に分類されるが、今回のガイドラインでは規制は対象外とする

表 6-5 案内標識等の種類(2/6)

機能	名称		役割	形式	水郷筑波仕様
案内	a-10	現在位置案内	<ul style="list-style-type: none"> コース上の現在位置を案内 	路面表示	
	a-11	市町村境案内	<ul style="list-style-type: none"> コースであること及び市町村境であることを案内 	看板 路面表示	
	a-12	〇マーク付き距離・方向案内	<ul style="list-style-type: none"> 終点・目的地までの距離の目安を案内 つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルルートであることの案内 分岐部において進行方向を案内 	看板 路面表示	
	a-13	観光地等案内	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコース周辺の観光地を案内 つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルルートであることの案内 	看板	
	a-14	拠点施設案内	<ul style="list-style-type: none"> 拠点施設を予告 拠点施設までの距離を案内 	看板 路面表示	
	a-15	サイクリングコースマップ	<ul style="list-style-type: none"> 主要施設で、サイクリングコースの全体像を案内 	大型看板	
	a-16	コース・駐車場アクセス案内	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーや自転車利用者に向けた、サイクリングコースや駐車場へのアクセス案内 	看板 路面表示 柱シート	

表 6-6 案内標識等の種類(3/6)

機能	名称		役割	形式	水郷筑波仕様
案内	a-17	自転車ピクトグラム	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用者に対し、サイクリングコースであることを案内するとともに、ドライバーに対しても、当該道路がサイクリングコースとして活用されており自転車が通行することの注意を促す 	路面表示	
	a-18	一時右側通行案内	<ul style="list-style-type: none"> 一時的に右側通行が発生する区間（橋梁部等）における自転車の安全確保と円滑な案内誘導 	看板	
	a-19	フォトスポット案内	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコース沿線のフォトスポットを予告 フォトスポットまでの距離を案内 	路面表示	
	a-20	高速道路 IC からのアクセス案内	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路 IC からつくば霞ヶ浦りんりんロードへ向かうドライバーに対する、拠点施設等の駐車場へのアクセス案内 	看板	
	a-21	自動販売機・トイレ設置施設等への案内	<ul style="list-style-type: none"> 自動販売機・トイレ設置施設等への予告 自動販売機・トイレ設置施設等への距離を案内 	路面表示	
	an-1	ナショナルサイクルートのロゴマーク	<ul style="list-style-type: none"> つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルートであることの案内 	看板	
	an-2	ロゴマーク付き分岐案内（2方向とも本線）	<ul style="list-style-type: none"> 分岐部においてつくば霞ヶ浦りんりんロードであること及び進行方向を案内 つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルートであることの案内 	路面表示	
	an-3	ロゴマーク付き分岐案内（1方向は本線以外）			

表 6-7 案内標識等の種類(4/6)

機能	名称		役割	形式	水郷筑波仕様	
案内	an-4	ロゴマーク付き距離案内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点施設までの距離を案内 ・ つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルルートであることの案内 	看板		
	指示	b-1	横断方法指示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点のどの部分で横断するかを指示 ・ 二段階右折を指示 	看板	
警戒		b-2	左側通行指示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左側通行を指示 	看板 路面表示	 
	対自転車	c-1	注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点や拠点施設手前等での注意喚起 	看板 路面表示	
		c-2	徐行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点や拠点施設手前、カーブ等での注意喚起, 徐行を促す 	路面表示	
		c-3	とまれ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点手前等での注意喚起, 停止を促す 	看板 路面表示	
c-4	釣り人注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釣り人に注意することを促す 	看板 路面表示			

表 6-8 案内標識等の種類(5/6)

機能	名称		役割	形式	水郷筑波仕様	
警戒	c-5	対自転車	曲り角注意(防護柵) ・ 転落防止	防護柵		
	c-6		砂利道注意 ・ 砂利道に注意することを促す	看板		
	c-7		車両進入禁止 ・ 車両進入禁止	看板		
	c-8		幅員注意 ・ 幅員が狭い区間において、注意を促す	看板 路面表示		
	c-9		勾配注意 ・ 勾配が急な区間において、注意を促す	看板 路面表示		
	c-10		対自動車	幅寄せ注意 ・ ドライバーに対して、自転車が通行するため、幅寄せしないことを促す	看板	
	c-11			横断自転車注意 ・ ドライバーに対して、横断する自転車がいるため注意することを促す	看板 路面表示	

表 6-9 案内標識等の種類(6/6)

機能	名称		役割	形式	水郷筑波仕様
警戒	c-12	対歩行者 自転車注意	・ 歩行者に対して、自転車に注意することを促す	看板	
	c-13	対自動車 トンネルでの自転車注意	・ ドライバーに対して、トンネル内部の歩行者や自転車に注意することを促す	看板シート	
	c-14	対自転車 双方向通行注意	・ 歩行者・自転車の安全確保のため、自転車に対して、自転車歩行者道等における双方向通行を指示	路面表示	
	c-15	対自動車 サイクリングコース合流注意	・ ドライバーに対して、サイクリングコースと合流することを注意喚起する	看板 路面表示	 
	c-16	対自転車 スリップ注意	・ スリップへの注意を促す	看板	
	c-17	対自転車 歩行者注意	・ 自転車に対して、歩行者に注意することを促す	看板	

6.2 案内標識等の整備基準

6.2.1 基本的な考え方

案内標識等の整備基準の基本的な考え方を以下に示す。

- 自転車利用者に対して、サイクリングコースであることや自転車向けの案内標識等であることを分かりやすく示すため、共通の規格(配色・フォント等)を用いた案内標識等とする。
- 景観に配慮するとともに、走行中の自転車利用者やドライバーにも見やすい配色・文字サイズとする。
- 警戒標識等は、遠くからでも目立つように配慮した配色とし、ピクトグラムを用いるなどひと目で分かりやすいデザインとする。

6.2.2 共通の規格

(1) 配色

つくば霞ヶ浦りんりんロードに関わる案内標識等であることがひと目で理解できるように、共通の配色を設定する。

なお、指定色の使用が困難な場合は、同等程度の色を使用する。

表 6-10 案内標識等に使用する色の規定

	考え方	例示	色の規格
案内	デザインの基本的な考え方で示されている青色系の色と黄色系の色を組み合わせ用いる。	矢羽根型コース案内 進行方向案内  	<青色系> JIS :10B, V4, C10 Pantone : 3005 C <黄色系> JIS :2.5Y, V8, C14 Pantone : Yellow C
注意	自転車利用者やドライバーの注意を惹きやすくするため、白色をベースとし、赤色系の色を組み合わせ用いる。	注意(対自転車) 基本形 多言語形  	<赤色系> JIS :2.5Y, V8, C14 Pantone : 185 C

(2) フォント

案内標識等に用いるフォントについては、利用者の視認性を考慮し、以下の通り設定する。

表 6-11 案内標識等に使用するフォントの規格

		フォント名
和文		モリサワ 見出ゴ MB31
欧文	十分にスペースがある場合	Interstate Bold
	スペースが狭い場合	Interstate Bold Condensed
	単語が長く、スペースが非常に狭い場合	Interstate Bold Compressed

※ 入手方法

- ・モリサワ見出ゴ MB31
→モリサワ株式会社 (URL: <http://store.morisawa.co.jp/>) より、フォント使用ライセンスを購入
- ・Interstate Bold, Interstate Bold Condensed, Interstate Bold Compressed
→Font Bureau (URL: <http://www.fontbureau.com/>) より、無料でダウンロード可能

(3) 設置位置

1) 看板

看板の設置高さは、看板の下端が地表より 1,800mm の高さとなるように設置する。ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、これを考慮し看板の下端が地表より 2,500mm の高さとなるように設置する。

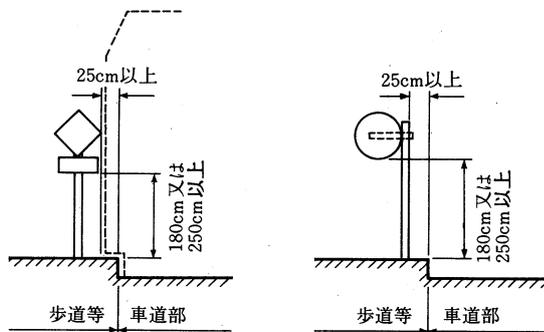


図 6-3 看板の設置位置

出典：道路標識設置基準・同解説（平成 62 年 1 月）

2) 路面表示

矢羽根型路面表示については、国のガイドラインに示されている通り、歩道のある道路にあっては、矢羽根型路面表示の右端が路肩端から 1.0m 以上の位置となるように設置し、歩道のない道路にあっては、原則として、矢羽根型路面表示の右端が車道外側線から車線内 1.0m 以上（現地の交通状況に応じて 0.75m 以上とすることもできる）離れた位置となるように設置する。

その他の路面表示については、路面表示の右端が、路肩端（または車道外側線）と矢羽根型路面表示の右端との間に収まるように設置する。

	形状	配置	
		歩道あり	歩道なし
仕様(案)	<p><標準形></p> <p>幅=0.75m以上※1</p> <p>長さ=1.50m</p> <p>角度=1:1.6</p> <p>道路幅員が狭く、歩行者を優先させる道路（生活道路など）では、必要に応じて、以下を採用。</p> <p>幅=0.75m</p> <p>長さ=0.60m</p> <p>角度=1:0.8</p>	<p>設置間隔=10m※2</p> <p>1.0m以上※3</p>	<p>設置間隔=10m※2</p> <p>1.0m以上(0.75m以上)※4</p>
備考	<p>※1: 自転車は、車道や自転車道の中央から左の部分、その左端に沿って通行することが原則である。このため、路面表示の幅員は、標準仕様を用いない場合でも、この原則を逸脱しない範囲で適切な形状を設定するとともに、自転車通行空間として必要な幅員を自転車と自動車の両方に認識させることが重要である。</p> <p>※2: 矢羽根型路面表示の設置間隔は10mを標準とし、交差点部等の自動車と自転車の交錯の機会が多い区間や、事故多発地点等では設置間隔を密にする。</p> <p>※3: 路面表示の幅員は、側溝の部分を除いて確保することが望ましい。</p> <p>※4: 現地の交通状況に応じて、0.75m以上とすることもできる。</p>		

図 6-4 矢羽根型路面表示の標準仕様(再掲)

出典：「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン（平成 28 年 7 月）」p. II-7

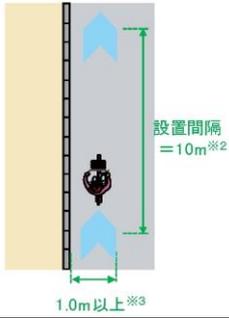
6.2.3 矢羽根型コース案内の規格

(1) コース案内としての位置づけ

本ガイドラインでは、矢羽根型路面表示を自転車走行空間の明示と合わせてコース案内として位置づけることとする。

矢羽根型路面表示は、国のガイドラインに基づき、自転車走行空間を明示する役割を持つとともに、本ガイドラインでは、コース案内の役割を付加する。

表 6-12 コース案内の種類

	矢羽根型路面表示
県内の事例	
国のガイドライン等による位置づけ	<p>国のガイドラインにおいて、車道混在は矢羽根型路面表示に統一する旨が示された。</p> 

(2) 自転車走行空間の明示とコース案内の規格

矢羽根型コース案内はその役割に応じて、「本線用」、「アクセス用」、「歩行者向け用」の3種類を設定する。

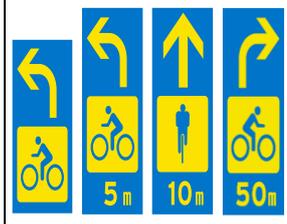
矢羽根型コース案内のサイズ及び単路部の設置間隔については、国のガイドラインに示されている矢羽根型路面表示の標準仕様にに基づき設定する。

水郷筑波仕様の矢羽根型コース案内については、国の仕様に黄色のラインを加えたものとする。

「本線用」の矢羽根型コース案内については、標準形だけでなく、道路の状況に応じて、縮小形を用いるものとする。

なお、国のガイドラインで示されている矢羽根型路面表示は、つくば霞ヶ浦りんりんロードには設置しないものとする。

表 6-13 矢羽根型コース案内の種類

	本線用	アクセス線用	歩行者向け用	進行方向案内
役割	サイクリングコース 本線を案内	本線へのアクセス 案内	本線へのアクセス 案内	進行方向を案内
設置箇所	本線	アクセス線 (主要拠点等から 本線)	歩行者通路 (駅等の公共施設 内, 歩道等)	交差点部や屈曲部等
設置基準*	単路部：40m 間隔 (状況に応じ, 最小 10~最大 100m 間 隔まで変更可能) 交差点内：1m 間隔	単路部：40m 間隔 (状況に応じ, 最小 10~最大 100m 間 隔まで変更可能) 交差点内：1m 間隔	上記のうち必要な 箇所	交差点部や屈曲部等の 手前から50m, 10m, 5m, 1m の位置
デザイン	<p><標準形></p>  <p><縮小形></p> 			

* 標準形の場合の設置基準を記載

(3) 設置間隔

矢羽根型コース案内(標準形)の交差点内での設置間隔について、他都市の事例を参考に、本ガイドラインでは 1.0m 間隔(後端～先端)と設定する。

矢羽根型コース案内(縮小形)については、視認性を考慮し 0.7m 間隔(後端～先端)とする。

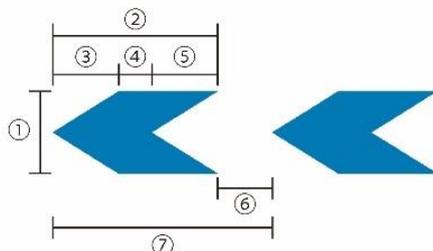


図 6-5 矢羽根型路面表示の設置サイズと間隔

表 6-14 本ガイドラインにおける矢羽根型コース案内の設置サイズと間隔

	①幅 (cm)	②長さ(cm)			⑥設置間隔 (後端～先端) (m)		⑦設置間隔 (先端～先端) (m)		設置間隔 (交差点内)	
		内訳			交差 点内	単路 部	交差 点内	単路 部		
		③	④	⑤						
標準形	75	188	60	68	60	1.0	38.12	2.88	40.0	
縮小形	75	73	30	13	30	0.7	-	1.43	-	

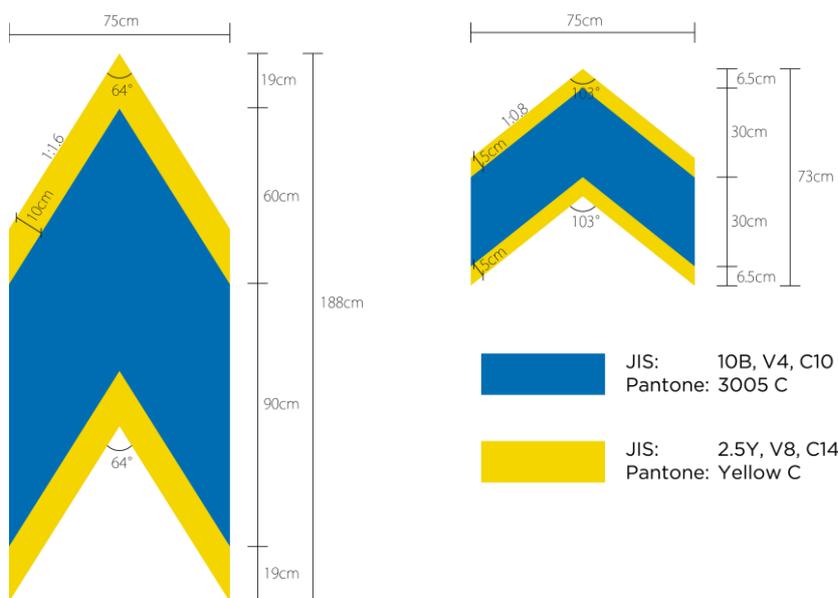


図 6-6 本ガイドラインにおける矢羽根型コース案内の仕様(標準形・縮小形)

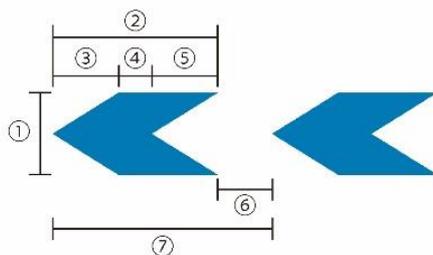


図 6-7 矢羽根型路面表示の設置サイズと間隔(再掲)

表 6-15 全国の矢羽根の設置サイズと間隔

設置主体	①幅 (cm)	②長さ(cm)			⑥設置間隔 (後端～先端) (m)		⑦設置間隔 (先端～先端) (m)		交差点内での 設置間隔	出典	
		内訳			交差 点内	単路 部	交差 点内	単路 部			
		③	④	⑤							
東京国道 事務所	60 ~75	150	-	-	-	1.0	3.5	2.5	5.0		都内初、交差点内における自転車の通行位置明示(自転車ナビライン)の試行検証(東京国道事務所)
埼玉県	60	80	-	-	-	0.7	2.2	1.5	3.0		自転車レーン等のサイン(埼玉県, 平成 25 年 4 月)
大阪府	100	150	50	50	50	0.5	2.5	1.5	4.0		大阪府自転車通行空間法定外表示実施要領(大阪府道路交通環境安全推進連絡会議, 平成 25 年 4 月)
千葉市	90	110	45	20	45	0.85	8.9	1.95	10.0		ちばチャリ・すいすいプラン(千葉市, 平成 25 年 8 月)
京都市	80	160	64	32	64	2.0	10.0	3.6	11.6		第 3 回「京都市自転車走行環境整備ガイドライン部会」協議資料(京都市, 平成 27 年 10 月)
新潟市	75	160	60	40	60	1.5	5.0	3.1	6.6		新潟市自転車走行空間整備ガイドライン(新潟市, 平成 26 年 3 月)
平塚市	60	100	40	20	40	1.0	2.0	2.0	3.0		平塚市自転車利用環境推進計画(平塚市, 平成 27 年 3 月)
栃木県	100	180	80	20	80	0.2	5.0~ 10.0	2.0	6.8~ 11.8	-	栃木県内の安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた取組について(宇都宮国道事務所)

6.2.4 案内標識等の多言語化への対応

案内標識等の語句については、外国人等様々な人々がサイクリングを楽しむことができる環境を構築するために、日本語と英語の併記を基本とする。

特に、注意喚起については、成田空港の多言語化の事例を参考に、英語、タイ語、中国語(簡体、繁体)、韓国語の5ヶ国語を併記する。

多言語版の設置に当たっては、図 5-7 配置イメージを参考に設置すること。

表 6-16 外国語を併記する案内標識等

形式	使用する言語	案内標識等の名称
基本形	日本語, 英語	[a-7] サイクリングコースへの誘導案内 [a-11] 市町村境界案内 [a-12] 距離案内 [a-13] 観光地等案内 [a-16] アクセス(自動車) [b-1] 横断方法指示 [b-2] 左側通行指示 [c-6] 砂利道注意 [c-7] 車両進入禁止 [c-10] 幅寄せ注意(対自動車) [c-11] 横断自転車注意(対自動車) [c-12] 自転車注意(対歩行者)
多言語形	日本語, 英語, タイ語, 中国語(簡体, 繁体), 韓国語を併記	[a-15] サイクリングコースマップ [c-1] 注意(対自転車) [c-2] 徐行(対自転車) [c-3] とまれ(対自転車) [c-4] 釣り人注意(対自転車)



図 6-8 多言語化の例(注意喚起)

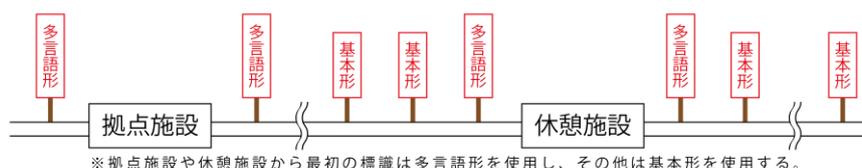


図 6-9 配置イメージ

6.2.5 距離案内の設定

(1) 距離計測の起点の設定

つくば霞ヶ浦りんりんロードの距離計測の起点として、岩瀬駅(西の起点)と水郷潮来バスターミナル(東の起点)を設定する。目的地はサイクリングコースの主要拠点である土浦駅、愛郷橋(高浜駅)、道の駅たまつくり、水郷北斎公園の4地点とする。

表 6-17 サイクリングコースの起点・目的地

起点・目的地	施設名称
起点	岩瀬駅(西の起点)
	水郷潮来バスターミナル(東の起点)
目的地	土浦駅
	愛郷橋(高浜駅)
	道の駅たまつくり
	水郷北斎公園

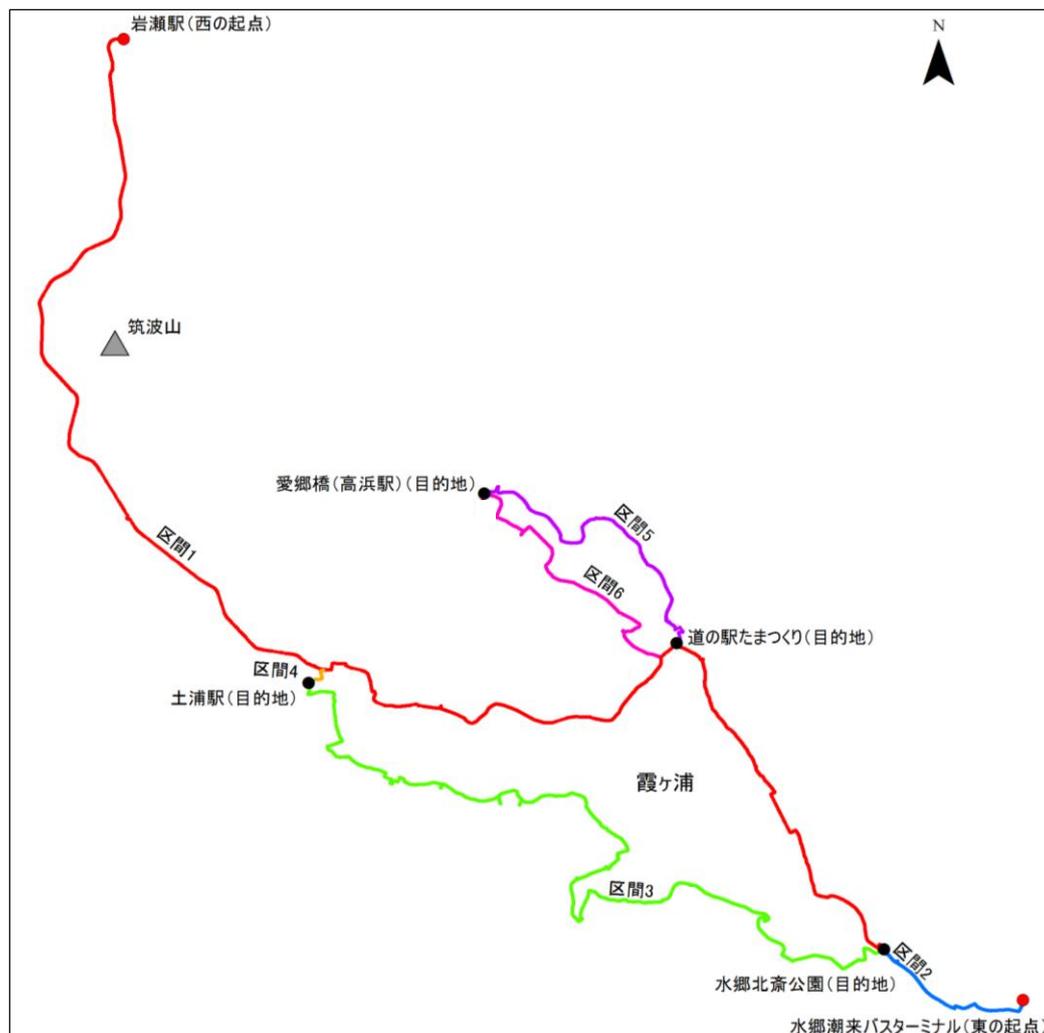


図 6-10 起点・目的地とコース区分

(2) 距離案内に表示する内容

距離案内に表示する内容は以下の通りとする。

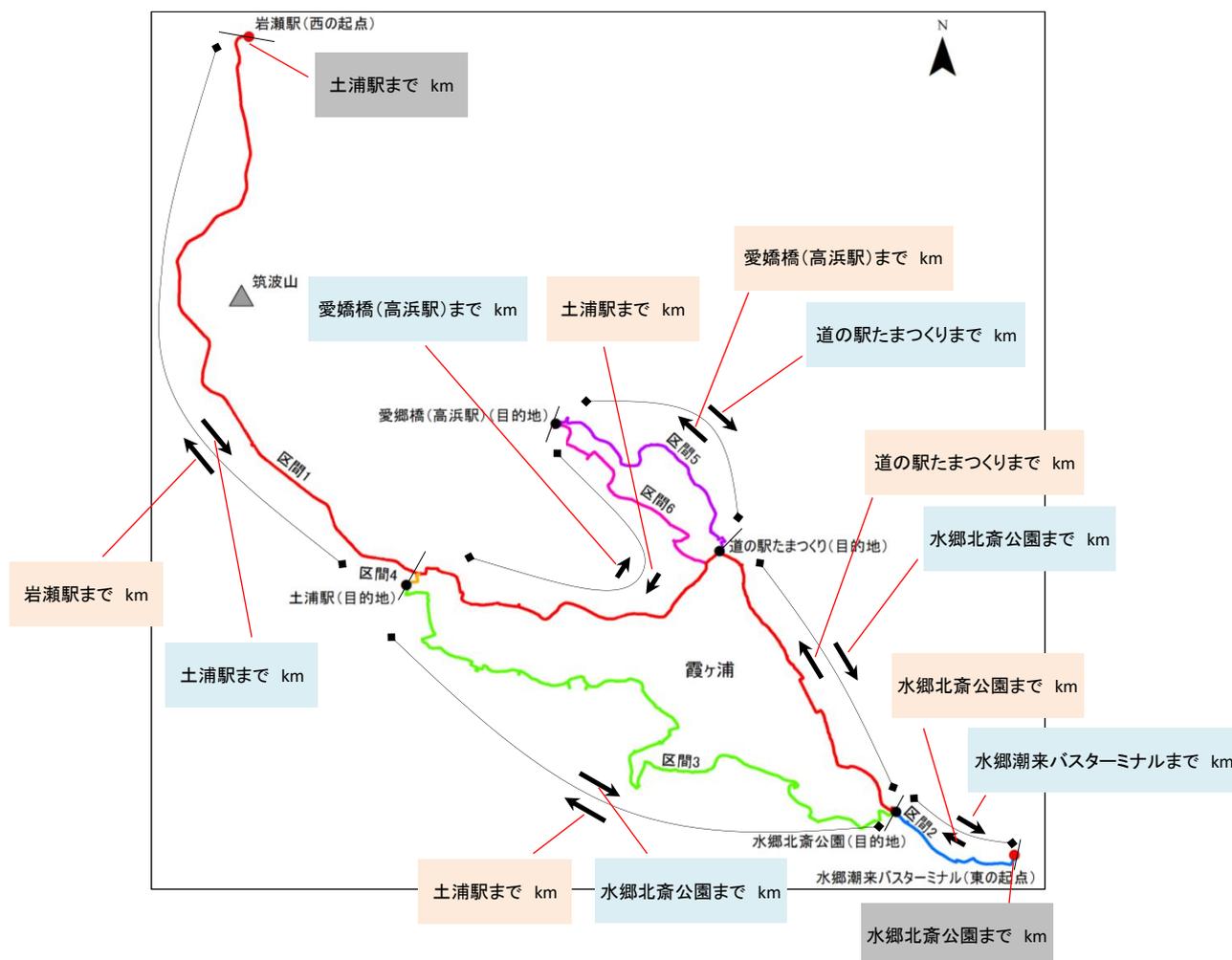


図 6-11 距離案内に表示する内容

(3) 短区間における距離標の設置

拠点施設等の手前に、目的地までの距離標を設置する。

設置イメージは以下に示すとおりである。

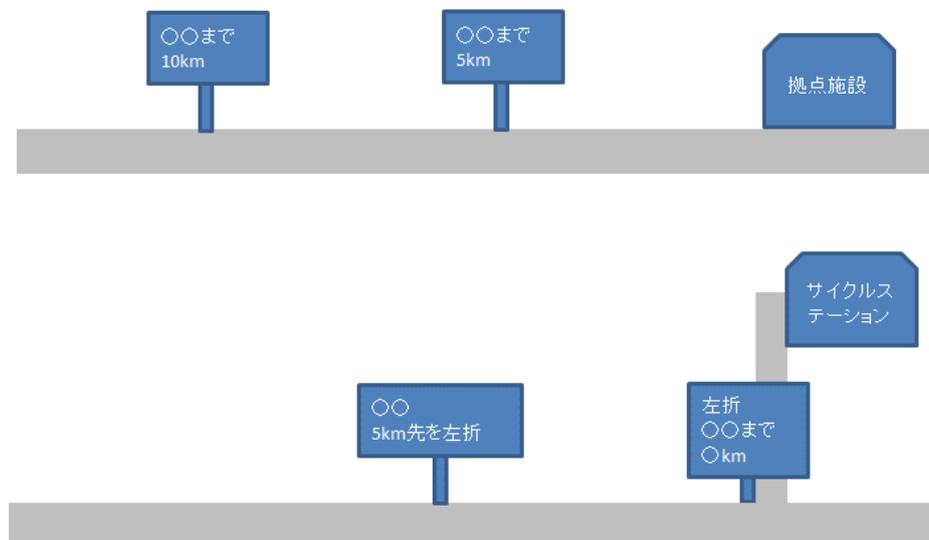


図 6-12 短区間における距離標の設置イメージ

6.2.6 コース・駐車場アクセス案内の設定

(1) 設置方針

アクセス線に対して、高速道路ICや幹線道路からつくば霞ヶ浦りんりんロードや駐車場までを案内する看板や路面表示等を設置する。

設置方針は以下に示すとおりである。

表 6-18 コース・駐車場アクセス案内の設置方針

- 主な来訪手段として、自動車に自転車を積載して来る方を対象として案内をする。
- 高速道路ICを利用する自動車での来訪者に向けては、桜川筑西IC(岩瀬 IC), 桜土浦 IC, 土浦北 IC, 潮来 IC, 茨城空港北 IC からの利用を想定し、駐車場へ誘導した上でサイクリングコースまでを案内する。
- 幹線道路を利用する自動車での来訪者に向けては、国道, 県道の利用を想定し、駐車場へ誘導した上でサイクリングコースまでを案内する。

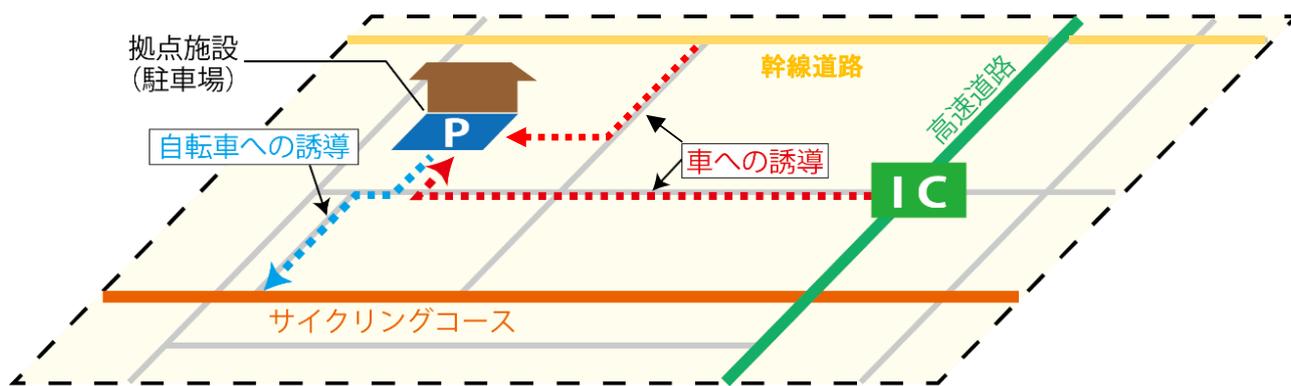


図 6-13 高速道路 IC から誘導の場合

表 6-19 コース・駐車場アクセス案内の種類

駐車場アクセス用		

(2) 設置イメージ

以下にコース・駐車場アクセス案内の設置イメージを示す。

駐車場アクセス用については、高速道路ICや幹線道路から駐車場までの区間に設置するものとし、自動車の交通量が多いと考えられる区間に対しては主に案内看板を設置し、自転車の交通量が多いと考えられる区間に対しては主に柱案内標示を設置する。

表 6-20 コース・駐車場アクセス案内の設置イメージ

案内看板	柱案内標示	駐車場入口路面表示	自転車マーク 矢羽根表示
			

※ p35 の適用区分を参照すること。案内看板については、耐力計算を実施すること。

6.2.7 案内標識等の設置イメージ

(1) 交差点への流入部

すべての交差点流入部において、自転車ピクトグラムを設置する。

自転車ピクトグラムは、自転車が走行するルート上で、停止線前に設置する。

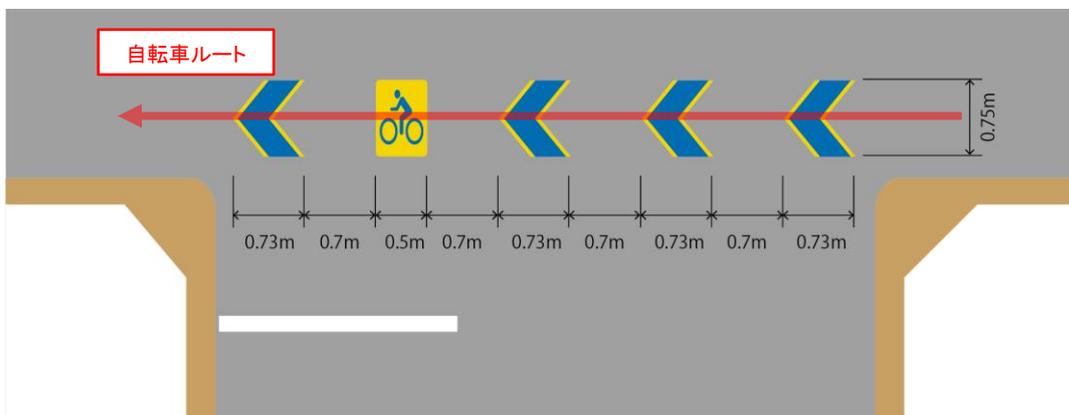


図 6-14 交差点への流入部における設置イメージ

(2) 一般道路の交差点部

案内標識等の整備基準に基づき、交差点部における設置イメージを以下に示す。

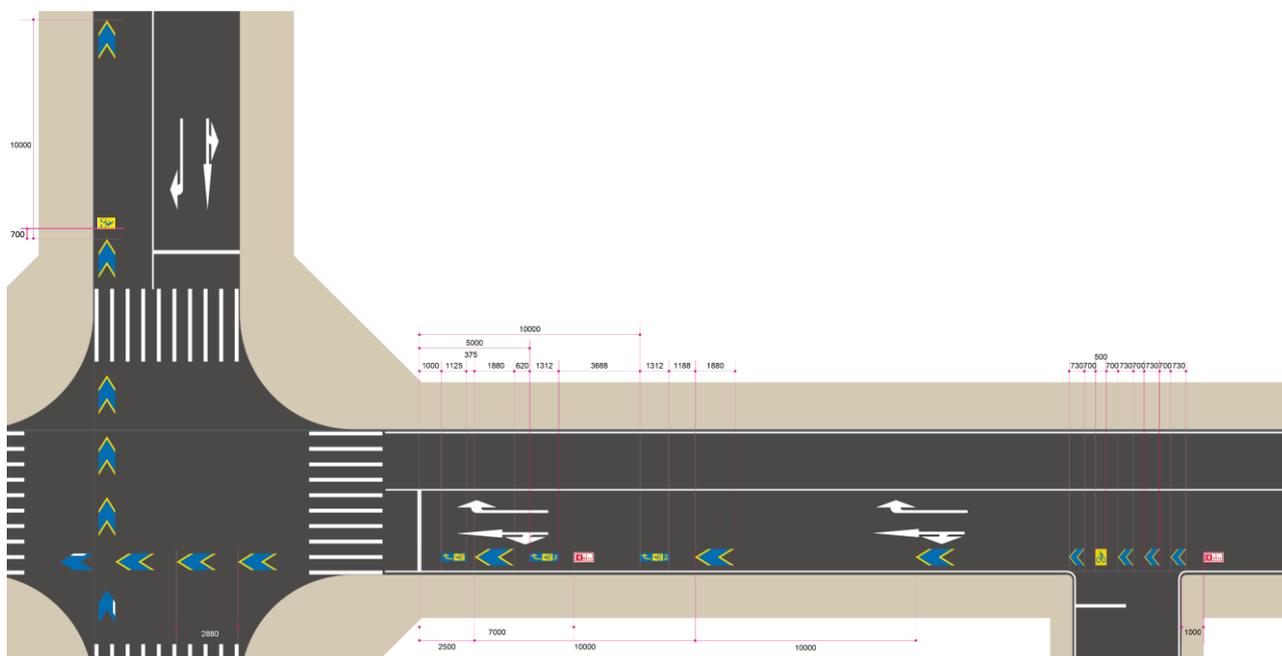
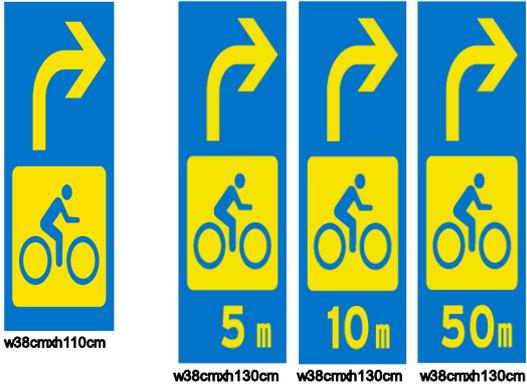
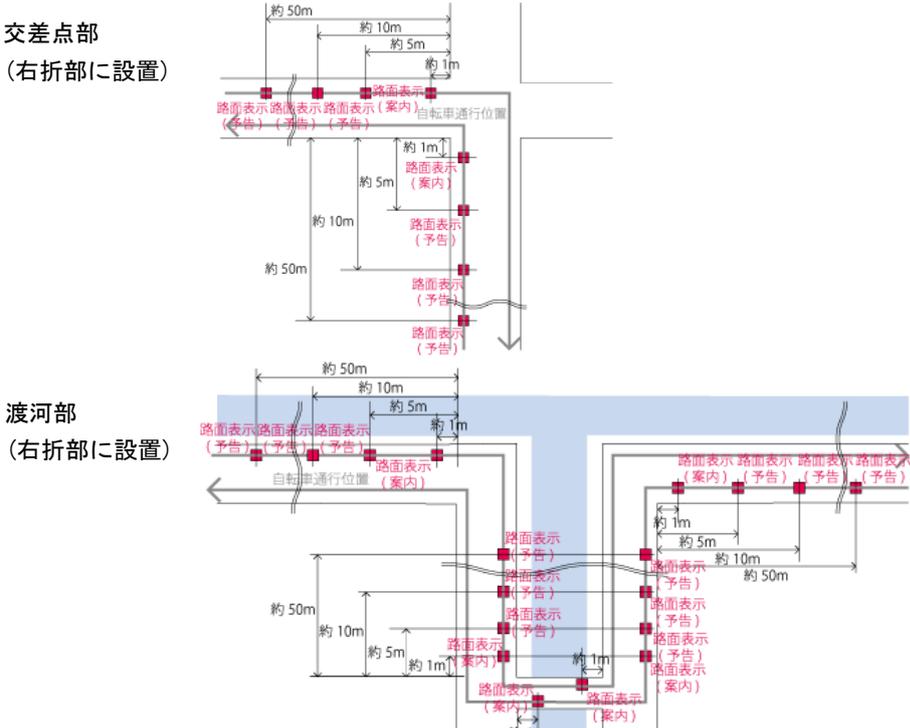


図 6-15 一般道路の交差点部における設置イメージ

6.3 各案内標識等の設置基準等

(1) [a-1] コース進行方向案内(右折)

名称・形式	a-1	コース進行方向案内 (右折)	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示・案内 路面表示・予告</p> 	<p>進行方向矢印</p> <p>自転車ピクトグラム</p> <p>交差点までの距離</p>	<p>JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p>
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> コース上の交差点や迷いやすい地点において、サイクリングコースであること及び進行方向を案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①進行方向が変わる交差点部、②渡河部、③単路部(右へのカーブ)に設置する。 設置位置は、i)交差点の停止線から計測する。 i)がない場合は、ii)歩道の巻込み端から計測、i) ii)ともない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 上記の計測位置から1mの位置に案内路面表示を設置、5m、10m、50mの位置に予告路面表示を設置する。 交差点部の場合、1交差点辺り路面表示8箇所とする。 		
<p>設置イメージ</p>			

(2) [a-2] コース進行方向案内(左折)

名称・形式	a-2	コース進行方向案内 (左折)	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示・案内 路面表示・予告</p> <p> ■ JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C ■ JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C ●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold </p> <p>進行方向矢印</p> <p>自転車ピクトグラム</p> <p>5m 10m 50m 交差点までの距離</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> コース上の交差点や迷いやすい地点において、サイクリングコースであること及び進行方向を案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①進行方向が変わる交差点部, ②渡河部, ③単路部(左へのカーブ)に設置する。 設置位置は, i) 交差点の停止線から計測する。 i) がない場合は, ii) 歩道の巻込み端から計測, i) ii) ともない場合は, 交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 上記の計測位置から 1m の位置に案内路面表示を設置, 5m, 10m, 50m の位置に予告路面表示を設置する。 交差点部の場合, 1 交差点辺り路面表示 8 箇所とする。 		
<p>設置イメージ</p>	<p>交差点部 (左折部に設置)</p> <p>渡河部 (左折部に設置)</p>		

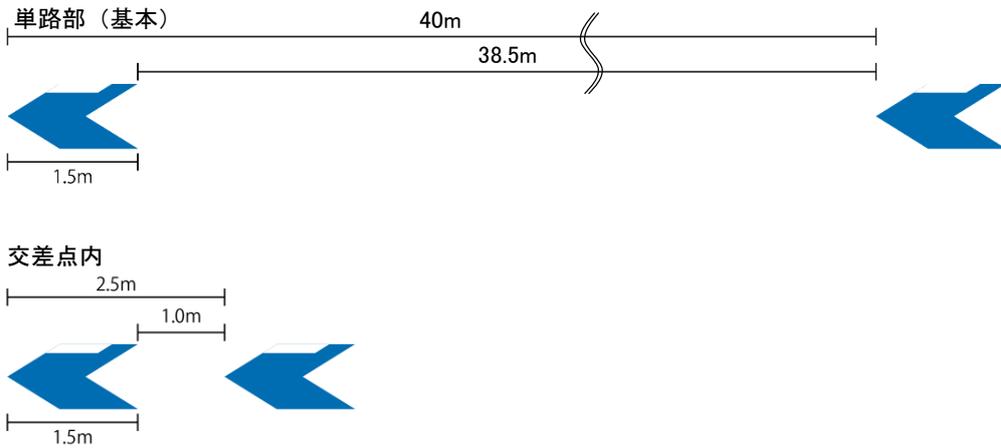
(3) [a-3] コース進行方向案内(直進)

名称・形式	a-3	コース進行方向案内 (直進)	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示・案内 路面表示・予告</p> <p> ■ JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C ■ JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C ● フォント 和文: モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold </p> <p>進行方向矢印</p> <p>自転車ピクトグラム</p> <p>5m 10m 50m 交差点までの距離</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> コース上の交差点や迷いやすい地点において、サイクリングコースであること及び進行方向を案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進行方向は変わらないが迷いやすい交差点部に設置する。 設置位置は、i) 交差点の停止線から計測する。 i) がない場合は、ii) 歩道の巻込み端から計測、i) ii) ともない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 上記の計測位置から 1m の位置に案内路面表示を設置、5m, 10m, 50m の位置に予告路面表示を設置する。 交差点部の場合、1 交差点辺り路面表示 8 箇所とする。 		
<p>設置イメージ</p>	<p>交差点部</p>		

(4) [a-4] 矢羽根型コース案内

名称・形式	a-4	矢羽根型コース案内	路面表示
サイズ表記内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>路面表示・標準形</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>路面表示・縮小形</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>路面表示</p> <ul style="list-style-type: none"> JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C </div>		
役割	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用者に対し、サイクリングコースであることを案内するとともに、ドライバーに対しても、当該道路がサイクリングコースとして活用されており自転車が通行することの注意を促す 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> つくば霞ヶ浦りんりんロードに設置する。 標準形は、単路部 40m 間隔、交差点内 1m 間隔にて設置を基本とする。なお、単路部のうち、市街地(例えば DID 地区)等の必要とされる区間においては、10m まで設置間隔を縮めることができるものとする。また、郊外部(例えば DID 地区以外)においては、100m まで設置間隔を広げることができるものとする。 縮小形は、路面表示の後端と先端の間隔が 0.7m となるように設置する。 単路部の設置開始位置は、i) 交差点の停止線から計測して 2.5m の位置とする。 i) がない場合は、ii) 歩道の巻込み端から計測、i) ii) ともない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 基本的には標準形を設置するが、道路幅員が狭く、歩行者を優先させる道路(生活道路など)では、必要に応じて、縮小形を設置する。 		
設置イメージ	<div style="margin-bottom: 20px;"> <p>単路部 (基本)</p> </div> <div> <p>交差点内</p> </div>		

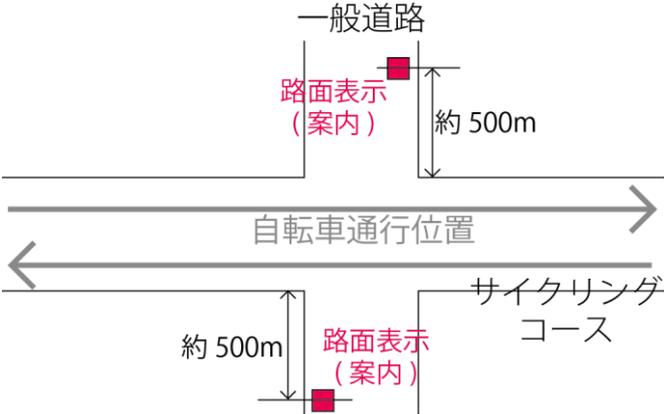
(5) [a-5] 矢羽根型コース案内(アクセス)

名称・形式	a-5	矢羽根型コース案内 (アクセス)	路面表示
サイズ 表記内容	<p>路面表示</p>  <p>JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p>		
役割	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコース周辺道路からサイクリングコースへのアクセス案内 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> 単路部は 40m 間隔, 交差点内 1m 間隔の設置を基本とする。なお, 単路部のうち, 市街地(例えば DID 地区)等の必要とされる区間においては, 10m まで設置間隔を縮めることができるものとする。また, 郊外部(例えば DID 地区以外)においては, 100m まで設置間隔を広げることができるものとする。 単路部の設置開始位置は, i) 交差点の停止線から計測して 2.5m の位置とする。 i) がない場合は, ii) 歩道の巻込み端から計測, i) ii) ともない場合は, 交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 		
設置イメージ	 <p>単路部 (基本) 40m 38.5m 1.5m</p> <p>交差点内 2.5m 1.0m 1.5m</p>		

(6) [a-6] 矢羽根型コース案内(歩行者向けアクセス)

名称・形式	a-6	矢羽根型コース案内 (歩行者向けアクセス)	路面表示
サイズ 表記内容	<p>路面表示</p>  <p>●カラー</p> <ul style="list-style-type: none"> Blue: JIS: 10B, V4, C10 / Pantone: 3005 C Yellow: JIS: 2.5Y, V8, C14 / Pantone: Yellow C <p>●フォント</p> <p>和文: モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p> <p>200m — サイクリングコースまでの距離</p> <p>自転車ピクトグラム</p> <p>w75cmxh180cm</p>		
役割	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者に向けた、サイクリングコースへのアクセス案内 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者通路(施設内、歩道等)のうち、必要箇所に設置する。 歩行者に向けた案内であることが分かるように、歩行者と自転車が混在するような箇所には設置しないように注意する。 		
設置イメージ	-		

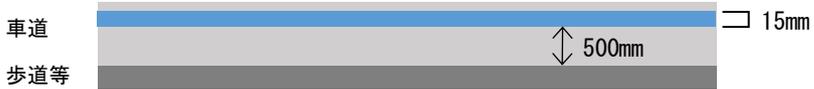
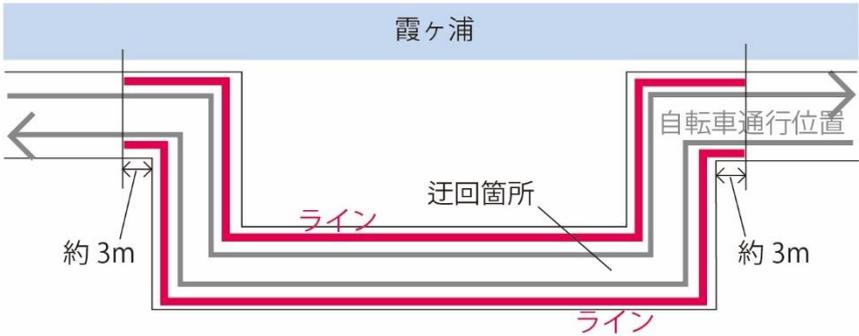
(7) [a-7] サイクリングコースへの案内

名称・形式	a-7	サイクリングコースへの案内	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示</p>  <p>●カラー 青: JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C 黄: JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>●フォント 和文: モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p> <p>目的地 (英語併記)</p> <p>進行方向矢印</p> <p>サイクリングコースまでの距離</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコース周辺道路からサイクリングコースまでの距離を案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコースと交差する主な一般道路に設置する。 サイクリングコースの手前約 500m の位置に設置する。 		
<p>設置イメージ</p>			

(8) [a-8] コースライン(コース案内)

名称・形式	a-8	コースライン (コース案内)	路面表示
<p style="text-align: center;">サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示</p> <p>●外側線がない道路</p>  <p>●外側線がある道路</p> 		
<p style="text-align: center;">役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコースであることを案内 		
<p style="text-align: center;">設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコースに設置する。 外側線がない道路の場合は、車道の端より 500mm 離れた地点に設置する。 外側線がある道路の場合は、外側線の車道端側に、外側線に沿って設置する。 		
<p style="text-align: center;">設置イメージ</p>	-		

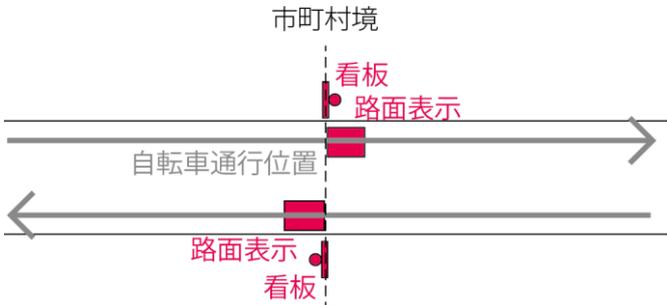
(9) [a-9] コースライン(迂回路等案内)

名称・形式	a-9	コースライン(迂回路等案内)	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ●外側線がない道路  <ul style="list-style-type: none"> ●外側線がある道路 		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 迂回路等のコースが分かりにくい区間において、コースであることを特に案内するときに設置 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コースの進行方向が特に分かりにくい区間に設置する。 ・ 外側線がない道路の場合は、車道の端より 500mm 離れた地点に設置する。 ・ 外側線がある道路の場合は、外側線の車道端側に、外側線に沿って設置する。 		
<p>設置イメージ</p>			

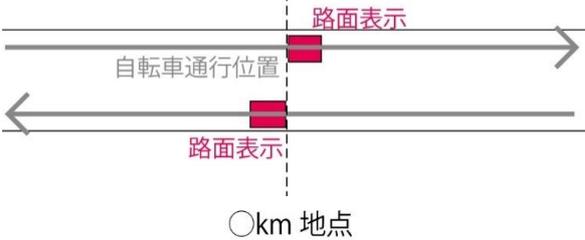
(10) [a-10] 現在位置案内

名称・形式	a-10	現在位置案内	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示</p>  <p>● = 現在位置</p> <p>Φ 75cm</p> <p>色指定: JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>● フォント 和文: モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> コース上の現在位置を案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 以下の箇所に設置する。 <ul style="list-style-type: none"> サイクリングコースの起点(岩瀬駅(西の起点)及び水郷潮来バスターミナル(東の起点)) サイクリングコースの分岐点(土浦市天王橋の分岐点, 霞ヶ浦大橋の西側・東側の分岐点, 潮来市牛堀パイパス付近の分岐点) サイクリングコース上の概ね 5km 毎の地点 		
<p>設置イメージ</p>	<p style="text-align: center;">-</p>		

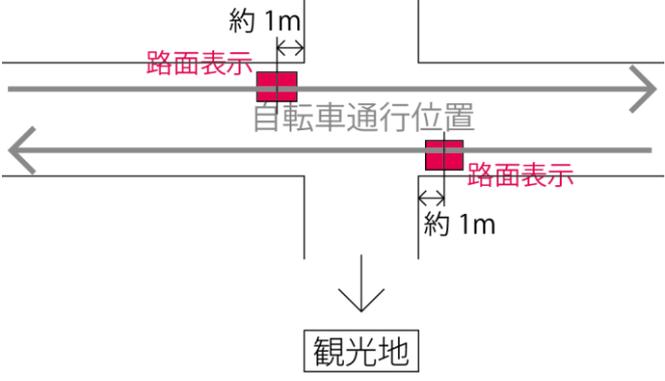
(11) [a-11] 市町村境案内

名称・形式	a-11	市町村境案内	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>市町村名（英語併記）</p> <p>市町村章</p> <p>w70cmxh31cm</p> <p>路面表示</p>  <p>市町村名（英語併記）</p> <p>市町村章</p> <p>w60cmxh60cm</p>		<p>JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p>
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> コースであること及び市町村境であることを案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> コース上の市町村境に設置する。 1地点当たり看板2箇所、路面表示2箇所とする。 看板の場合は、看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>			

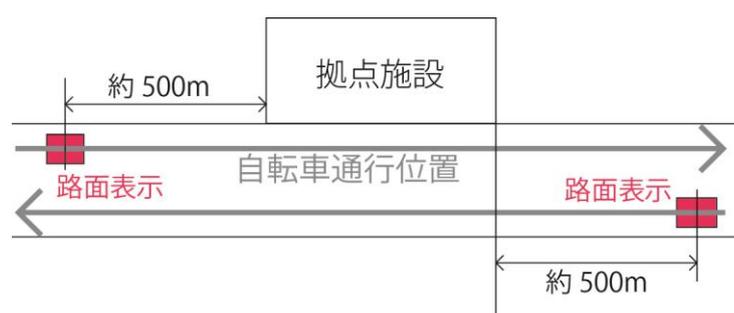
(12) [a-12] 距離案内

名称・形式	a-12	ロゴマーク付き距離・方向案内	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>W20cm x h60cm</p>	<p>路面表示</p>  <p>W57cm x h125cm</p>	<p>  JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C  JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C </p> <p>※具体的な表記内容は p. 63 を参照</p>
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終点・目的地までの距離の目安を案内 ・ つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルルートであることの案内 ・ 分岐部において進行方向を案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイクリングコースにおいて起点(岩瀬駅(西の起点)及び水郷潮来バスターミナル(東の起点))または各目的地から、次の目的地または終点(西の起点に対する東の起点, または東の起点に対する西の起点)まで、1kmごとに設置する。1地点辺り路面表示2箇所とする。 ・ 進行方向が変わる交差点部に設置する(看板)。 ・ 交差点への看板の設置位置は、i) 交差点の停止線から計測して約50m手前の位置とする。i) がない場合は、ii) 歩道の巻込み端から計測、i) ii) ともない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 ・ 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 ・ 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>	 <p>○km 地点</p>		

(13) [a-13] 観光地等案内

名称・形式	a-13	観光地等案内	看板
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p> 	<p>観光地等名称（英語併記）</p>	<p> JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C ●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold </p>  <p>W90cm x h18cm</p>
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコース周辺の観光地を案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観光地への分岐交差点に設置する。 設置位置は、i) 交差点の停止線から計測して1mの位置とする。 i)がない場合は、ii)歩道の巻込み端から計測、i) ii)ともない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 1交差点あたり路面表示2箇所とする。 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>			

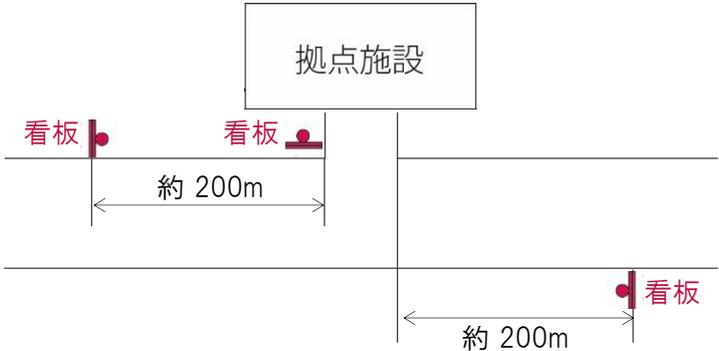
(14) [a-14] 拠点施設案内

名称・形式	a-14	拠点施設案内	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示・看板</p>  <p>進行方向矢印</p> <p>W60cm x h40cm</p> <p>拠点施設までの距離</p> <p>JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点施設を予告 ・ 拠点施設までの距離を案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点施設 (TT, TR, RP) の手前約 500m の位置に路面表示を設置する。看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>	 <p>約 500m</p> <p>約 500m</p> <p>路面表示</p> <p>路面表示</p> <p>自転車通行位置</p> <p>拠点施設</p>		

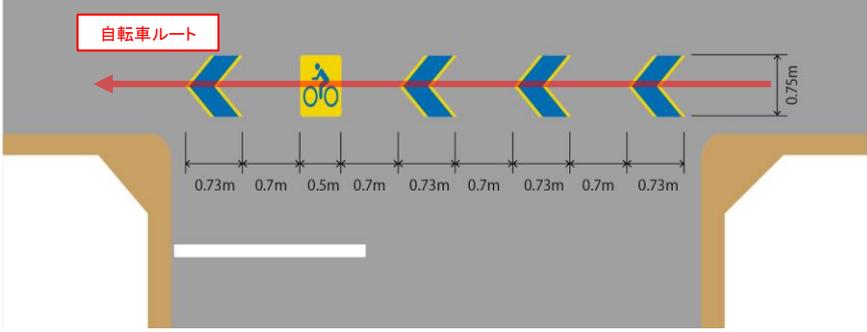
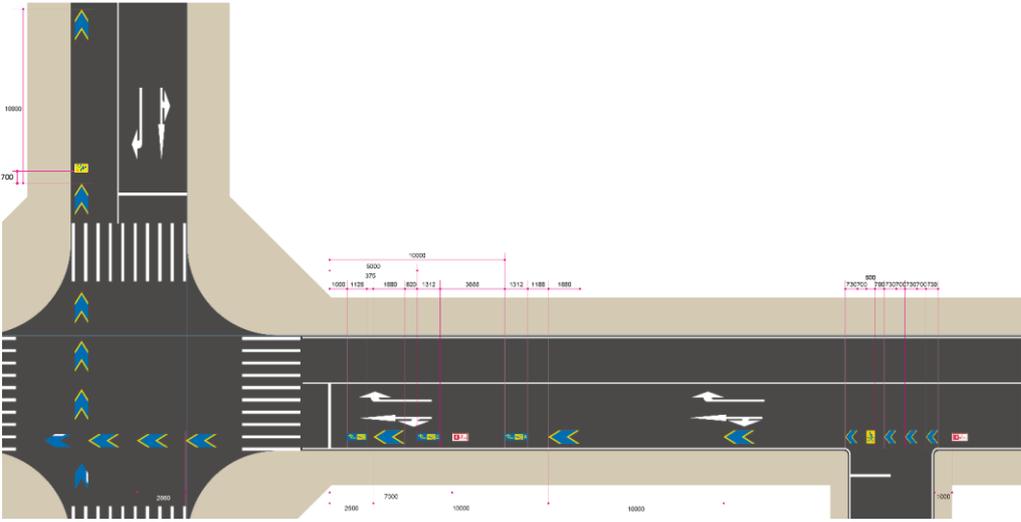
(15) [a-15] サイクリングコースマップ

名称・形式	a-15	サイクリングコースマップ	大型看板
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>大型看板</p>  <p>コース断面図</p> <p>自転車利用五則を周知</p>  <p>w150cm x h120cm</p> <p>コースマップ (マップ上の主要施設名称の表記について英語併記)</p>  <p>つくばりんりんロードの大型看板（既存）</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主要施設で、サイクリングコースの全体像を案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 拠点施設や休憩所など自転車利用者が多く集まる地点に設置する。 看板の上端が地表より2,200mm程度の高さとなるように設置する。 		
<p>設置イメージ</p>			

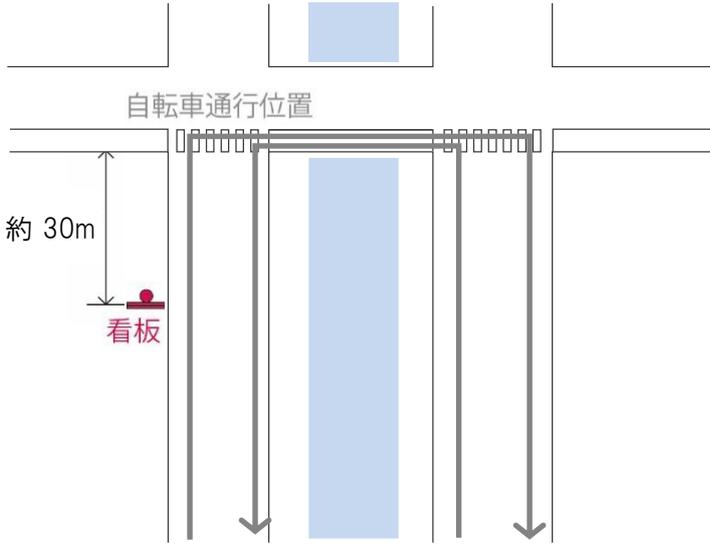
(16) [a-16] コース・駐車場アクセス案内

名称・形式	a-16	コース・駐車場アクセス案内	看板・路面表示・柱シート
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>柱シート</p> 	<p>路面表示</p>  <p>ピクトグラム</p> <p>駐車場までの距離</p>	<p>JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p>
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーや自転車利用者に向けた、サイクリングコースや駐車場へのアクセス案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路 IC や幹線道路からつくば霞ヶ浦りんりんロード周辺の駐車場までの区間のうち、必要箇所に設置する。 看板、または路面表示、または柱シートの設置位置は、アクセス路線から拠点施設等の駐車場の入口交差点に対し、i) 交差点の停止線から計測して約 200m 手前の位置、および駐車場の入口部分とする。i) が無い場合は、ii) 歩道の巻込み端から計測、i) ii) とも無い場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 看板の下端が地表より 1,800mm の高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より 2,500mm の高さとなるように設置する。 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>			

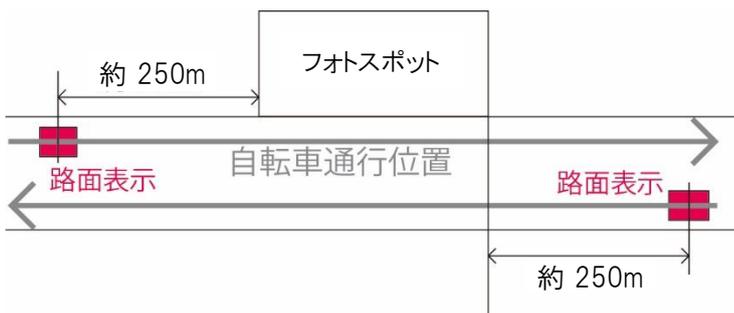
(17) [a-17] 自転車ピクトグラム

名称・形式	a-17	自転車ピクトグラム	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示</p>  <p>ピクトグラム</p> <p>W50cm x h75cm</p> <p>JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用者に対し、サイクリングコースであることを案内するとともに、ドライバーに対しても、当該道路がサイクリングコースとして活用されており自転車が通行することの注意を促す 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコース上の必要な箇所に適宜設置する(例えば、交差点の流入部や流出部等)。 		
<p>設置イメージ</p>	<p>(1) 交差点への流入部</p>  <p>(2) 一般道路の交差点部</p> 		

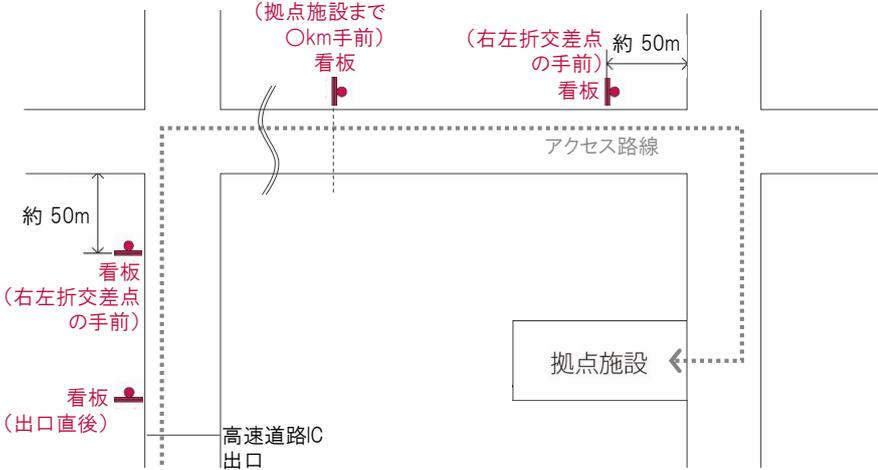
(18) [a-18] 一時右側通行案内(対自転車)

名称・形式	a-18	一時右側通行案内 (対自転車)	看板
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>—— 進行方向矢印</p> <p>—— ピクトグラム</p> <p>W30cm x h90cm</p> <p>JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一時的に右側通行が発生する区間(橋梁部等)における自転車の安全確保と円滑な案内誘導 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一時的に右側通行が発生する区間の手前に設置する。 看板の設置位置は、一時的な右側通行のために右左折を要する交差点に対し、i) 交差点の停止線から計測して約 30m 手前の位置とする。i) がない場合は、ii) 歩道の巻込み端から計測、i) ii) ともない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 看板の下端が地表より 1,800mm の高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より 2,500mm の高さとなるように設置する。 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>	 <p>自転車通行位置</p> <p>約 30m</p> <p>看板</p>		

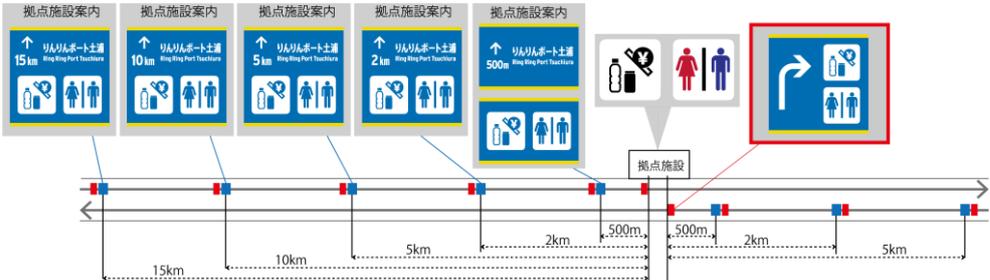
(19) [a-19] フォトスポット案内(対自転車)

名称・形式	a-19	フォトスポット案内 (対自転車)	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示</p>  <p>●ピクトグラム</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> <p>↑ 250m — フォトスポットまでの距離</p> <p>w20cm x h30cm</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコース沿線のフォトスポットを予告 フォトスポットまでの距離を案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコース沿線のフォトスポットの手前約 250m の位置に設置する。 		
<p>設置イメージ</p>			

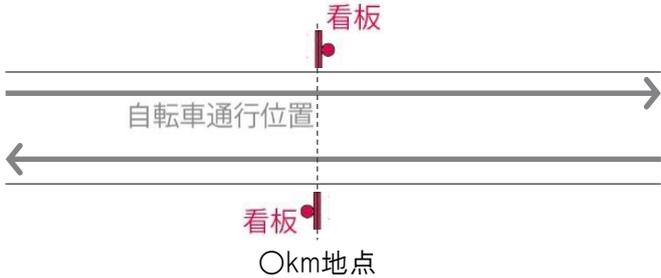
(20) [a-20] 高速道路 IC からのアクセス案内(対自動車)

名称・形式	a-20	高速道路 IC からの アクセス案内 (対自動車)	看板
サイズ 表記内容	<p>看板</p>  <p>——— ピクトグラム</p> <p>——— 進行方向矢印及び距離</p> <p>JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p>		
役割	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路 IC からつくば霞ヶ浦りんりんロードへ向かうドライバーに対する、拠点施設等の駐車場へのアクセス案内 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> 以下の箇所に設置する。 <ul style="list-style-type: none"> 高速道路 IC 出口の直後 拠点施設等の駐車場の 2km 手前および 1km 手前の地点 高速道路 IC から拠点施設等の駐車場までのアクセス路における、右左折交差点の手前 交差点への看板の設置位置は、i) 交差点の停止線から計測して約 50m 手前の位置とする。i) がない場合は、ii) 歩道の巻込み端から計測、i) ii) ともない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 看板の下端が地表より 1,800mm の高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より 2,500mm の高さとなるように設置する。 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
設置イメージ			

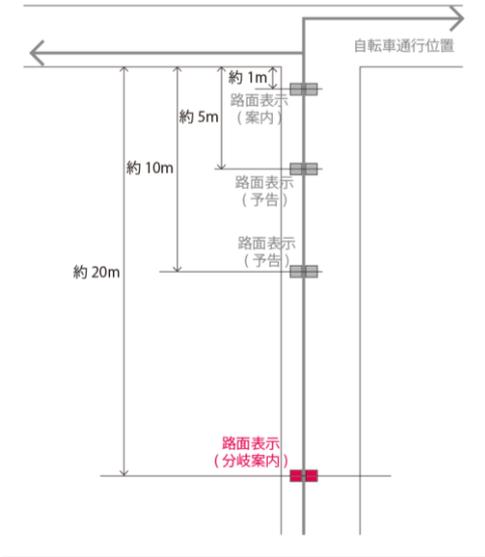
(21) [a-21] 自動販売機・トイレ設置施設等への案内

名称・形式	a-21	自動販売機・トイレ設置施設等への案内	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示</p>  <p>入口手前 (自販機・トイレ) W60cm x h60cm</p>  <p>入口手前 (コンビニ) W60cm x h60cm</p>	<p>自動販売機・トイレ設置施設等への案内</p>  <p>500m 手前 W60cm x h40cm スペース 5cm W60cm x h40cm</p> 	<p>路面表示</p> <p>JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p>  <p>5km 手前 W60cm x h60cm</p>
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動販売機・トイレ設置施設等への予告 自動販売機・トイレ設置施設等への距離を案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動販売機・トイレ設置施設等への入口直前, 手前 500m, 2km, 5km の位置に設置する。 また, 10km 以上施設がない区間では, 必要に応じて 10km, 15km 等の位置に設置を行う。 		
<p>設置イメージ</p>			

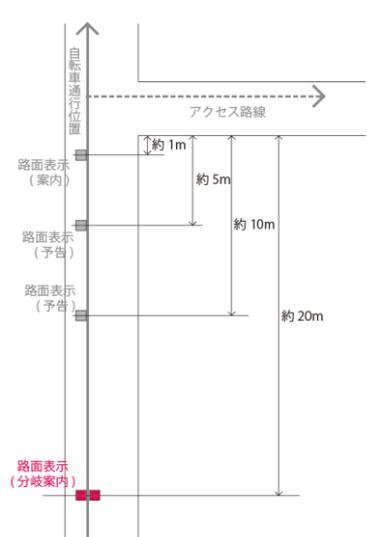
(22) [an-1] ナショナルサイクルルートのロゴマーク

名称・形式	an-1	ナショナルサイクルルートのロゴマーク	看板
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>W15cm x h15cm</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルルートであることの案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 以下の箇所に設置する <ul style="list-style-type: none"> サイクリングコースの起点(岩瀬駅(西の起点)及び水郷潮来バスターミナル(東の起点)) サイクリングコースの主要な分岐点(土浦市天王橋の分岐点, 霞ヶ浦大橋の西側・東側の分岐点, 潮来市牛堀パイパス付近の分岐点) サイクリングコース上の概ね 1km 毎の地点 ロゴマークは既存の看板の支柱に設置することを基本とする。又は、他の看板・路面表示にてナショナルサイクルルートのロゴマークが表示されているもので代用できるものとする。 ロゴマーク単体の看板を新設する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>			

(23) [an-2] ロゴマーク付き分岐案内(2方向とも本線)

名称・形式	an-2	ロゴマーク付き分岐案内 (2方向とも本線)	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示</p>  <p>W57cm x h125cm W57cm x h125cm</p>		<p>路面表示</p> <p>■ JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C</p> <p>■ JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>● フォント 和文: モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p>
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分岐部においてつくば霞ヶ浦りんりんロードであること及び進行方向を案内 つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルルートであることの案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進行方向の分岐の両方向ともが「つくば霞ヶ浦りんりんロード」である交差点部に設置する。 設置位置は、i) 交差点の停止線から計測する。 i) がない場合は、ii) 歩道の巻込み端から計測、i) ii) ともない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 上記の計測位置から 20m の位置に設置する。 		
<p>設置イメージ</p>			

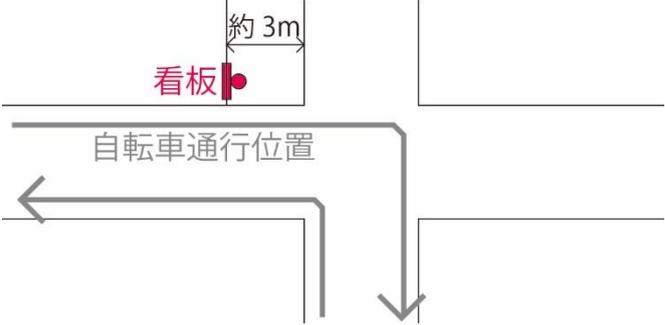
(24) [an-3] ロゴマーク付き分岐案内(1方向は本線以外)

名称・形式	an-3	ロゴマーク付き分岐案内 (1方向は本線以外)	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示</p>  <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> <p>W57cm x h125cm W57cm x h125cm</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分岐部においてつくば霞ヶ浦りんりんロードであること及び進行方向を案内 つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルルートであることの案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進行方向の分岐の一方のみが「つくば霞ヶ浦りんりんロード」である交差点部に設置する。 設置位置は、i) 交差点の停止線から計測する。 i) がない場合は、ii) 歩道の巻込み端から計測、i) ii) とともにない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 上記の計測位置から 20m の位置に設置する。 		
<p>設置イメージ</p>			

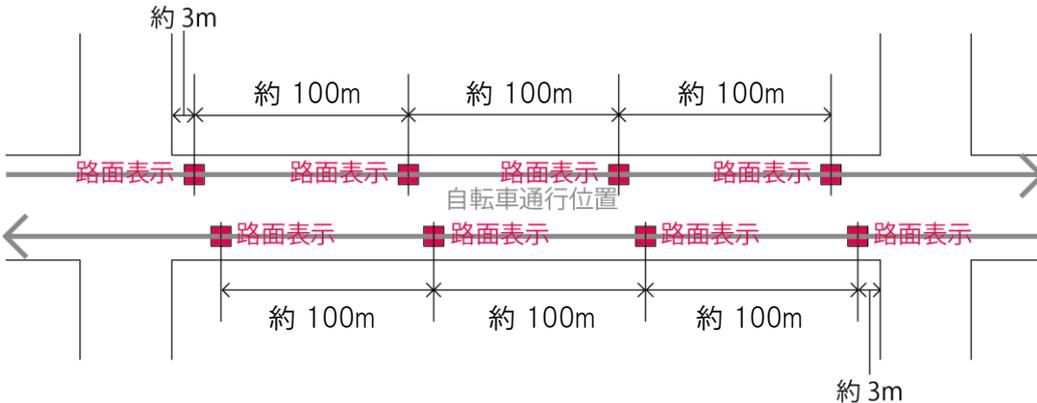
(25) [an-4] ロゴマーク付き距離案内

名称・形式	an-4	ロゴマーク付き距離案内	看板
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p> 	<p>W40cm x h140cm</p>	<p>例) 設置高さ 看板下端 600mm</p>
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点施設までの距離を案内 ・ つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルルートであることの案内 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点施設や休憩所など自転車利用者が多く集まる地点に設置する。 		
<p>設置イメージ</p>	 <p>※当該看板は必ずしも両面に設置する必要は無く、必要に応じて設置場所を変更できるものとする。 また、設置箇所の現地状況に応じて、単柱・複柱で設置できるものとする。</p>		

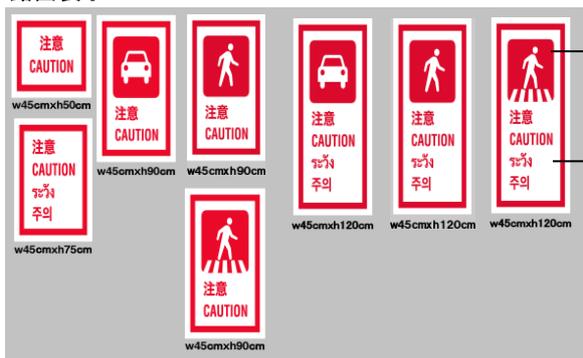
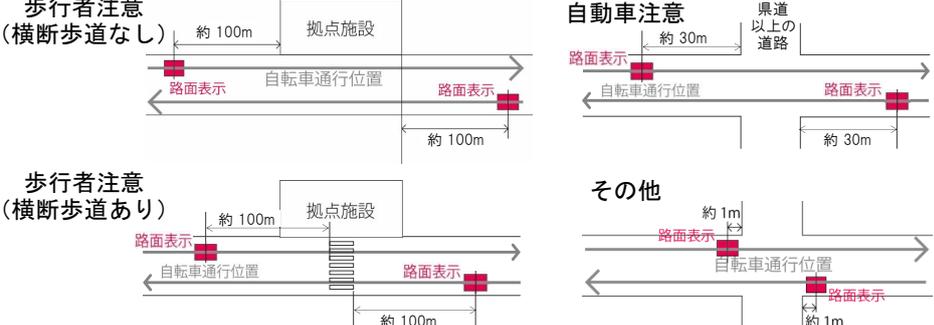
(26) [b-1] 横断方法指示

名称・形式	b-1	横断方法指示	看板
<p>サイズ 表記内容</p>	 <p>看板</p> <p>横断方法</p> <p>看板の内容（英語併記）</p> <p>w60cm x h90cm</p>		<p>●フォント 和文：モリサワ 見出ゴ MB31 欧文：Interstate Bold</p> <p>横断方法図については箇所ごとに作成</p> <p>着色については、水郷筑波仕様の矢羽根型路面表示等を参考とする</p>
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交差点のどの部分で横断するかを指示 二段階右折を指示 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の横断位置がわかりにくい交差点の手前において設置を検討する（二段階右折・五叉路・変則交差点等）。 設置位置は、i) 交差点の停止線から計測して3mの位置とする。 i) がない場合は、ii) 歩道の巻込み端から計測、i) ii) ともがない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>			

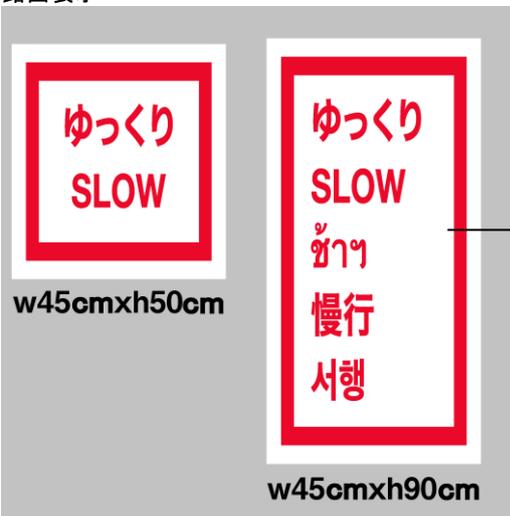
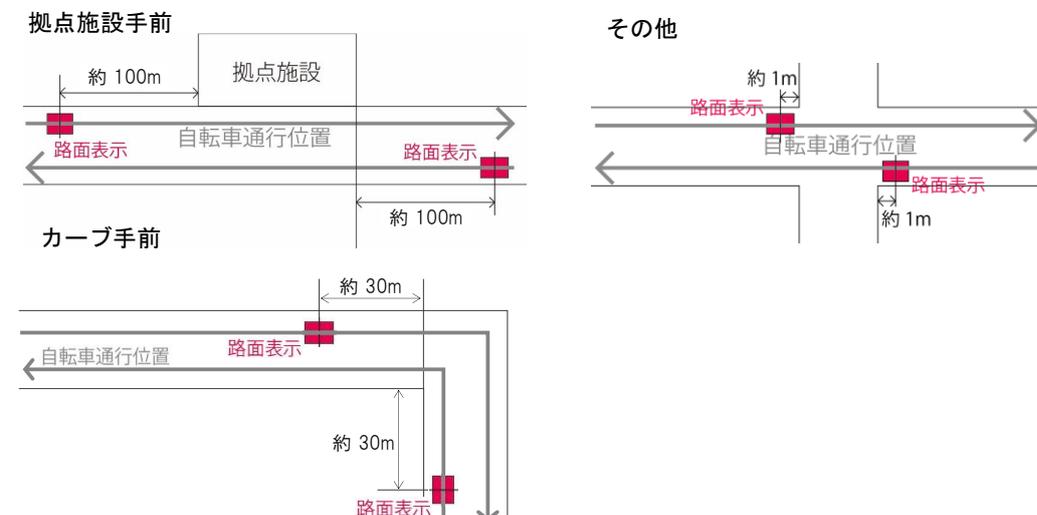
(27) [b-2] 左側通行指示

名称・形式	b-2	左側通行指示	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>自転車左側通行 KEEP LEFT</p> <p>w60cmxh90cm</p> <p>路面表示</p>  <p>自転車は左側通行 CYCLIST MUST KEEP LEFT</p> <p>w45cmxh100cm</p> <p>注意を促す語句（英語併記）</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文: モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 左側通行を指示 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 道路の状況等により適宜設置する。 		
<p>設置イメージ</p>	 <p>約 3m</p> <p>約 100m</p> <p>約 100m</p> <p>約 100m</p> <p>路面表示</p> <p>路面表示</p> <p>路面表示</p> <p>路面表示</p> <p>自転車通行位置</p> <p>路面表示</p> <p>路面表示</p> <p>路面表示</p> <p>路面表示</p> <p>約 100m</p> <p>約 100m</p> <p>約 100m</p> <p>約 3m</p>		

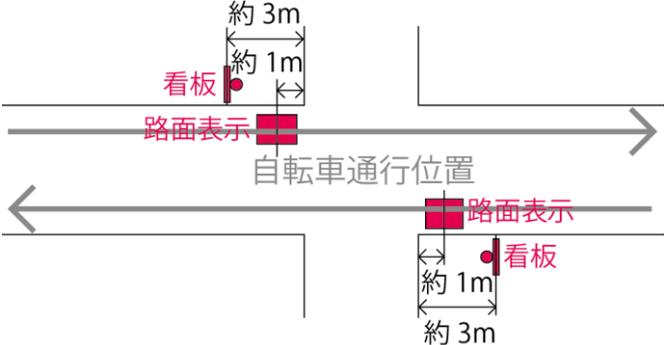
(28) [c-1] 注意(対自転車)

名称・形式	c-1	注意(対自転車)	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>歩行者注意 PEDESTRIAN CROSSING w60cmxh90cm</p> <p>自動車注意 CAUTION AUTOMOBILE w60cmxh90cm</p> <p>歩行者注意 CAUTION PEDESTRIAN w60cmxh90cm</p> <p>路面表示</p>  <p>注意 CAUTION w45cmxh50cm</p> <p>注意 CAUTION 주의 w45cmxh90cm</p> <p>注意 CAUTION 주의 w45cmxh90cm</p> <p>注意 CAUTION 주의 w45cmxh120cm</p> <p>注意 CAUTION 주의 w45cmxh120cm</p> <p>注意 CAUTION 주의 w45cmxh120cm</p> <p>注意 CAUTION 주의 w45cmxh75cm</p> <p>注意 CAUTION w45cmxh90cm</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> <p>注意を促す ピクトグラム</p> <p>注意を促す 注意を促す語句 (英語併記)</p> <p>注意を促す ピクトグラム</p> <p>注意を促す語句 (主要な箇所では 5ヶ国語併記)</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交差点や拠点施設手前等での注意喚起 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 注意喚起が必要な交差点等に設置する。 【歩行者注意(横断歩道なし)】 拠点施設(TP, TT, RP)の手前約100mに設置する(横断歩道はないが歩行者の横断があり得る場合)。 【歩行者注意(横断歩道あり)】 拠点施設(TP, TT, RP)の横断歩道の手前約100mに設置する。 また、まちなか等の単路部にある横断歩道の手前に設置する。 【自動車注意】 県道以上の道路と交差する交差点のサイクリングコース上に設置する。 【注意】 上記以外の交差点において、道路の状況等により適宜設置する。 交差点に関する設置位置は、i)交差点の停止線から計測した位置とし、i)がない場合は、ii)歩道の巻込み端から計測、i) ii)ともない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 連続して設置する場合は、現地の状況に応じて設置間隔を検討する。 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>	 <p>歩行者注意(横断歩道なし)</p> <p>歩行者注意(横断歩道あり)</p> <p>自動車注意</p> <p>その他</p>		

(29) [c-2] 徐行(対自転車)

名称・形式	c-2	徐行 (対自転車)	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示</p>  <p>注意を促す語句 (主要な箇所では5ヶ国語併記)</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> <p>w45cmxh50cm</p> <p>w45cmxh90cm</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交差点や拠点施設手前、カーブ等での注意喚起、徐行を促す 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 注意喚起が必要な拠点施設 (TP, TT, RP), カーブ, 交差点等の手前に設置する。 拠点施設は 100m 手前の位置 (既設のサインがある場合は 90m), カーブは 30m 手前の位置 (既設のサインがある場合は 25m) とする。 交差点に関する設置位置は, i) 交差点の停止線から計測して 1m の位置とし, ii) が無い場合は, iii) 歩道の巻込み端から計測, i) ii) ともにならない場合は, 交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 コース進行方向案内を設置する交差点については, 上記の計測位置から 7m の位置に設置する。 連続して設置する場合は, 現地の状況に応じて設置間隔を検討する。 看板を設置する場合, 標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>	 <p>拠点施設手前</p> <p>約 100m</p> <p>拠点施設</p> <p>路面表示</p> <p>自転車通行位置</p> <p>約 100m</p> <p>カーブ手前</p> <p>約 30m</p> <p>路面表示</p> <p>自転車通行位置</p> <p>約 30m</p> <p>路面表示</p> <p>その他</p> <p>約 1m</p> <p>路面表示</p> <p>自転車通行位置</p> <p>約 1m</p>		

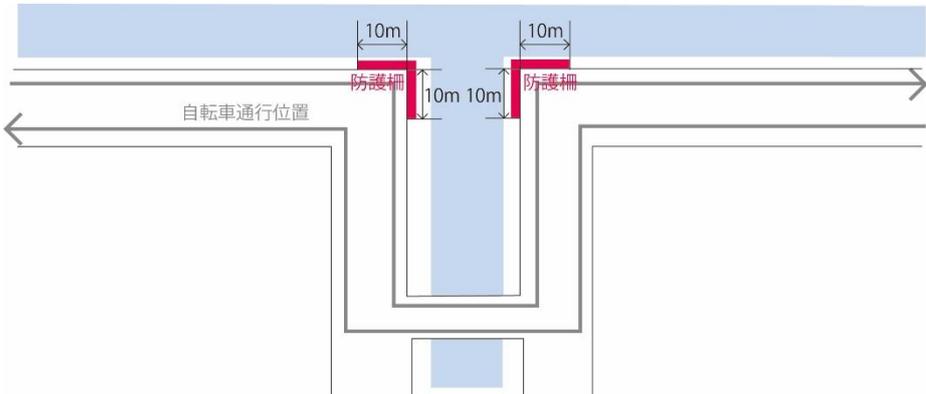
(30) [c-3] とまれ(対自転車)

名称・形式	c-3	とまれ(対自転車)	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p> 	<p>路面表示</p> 	<p>看板・路面表示</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> <p>注意を促す語句 (主要な箇所では5ヶ国語併記)</p>
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交差点手前等での注意喚起, 停止を促す 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 注意喚起が必要な交差点、駐車場出入口や車止め前等に設置する。 路面表示の設置位置は、i) 交差点の停止線から計測して1mの位置とする。i)がない場合は、ii)歩道の巻込み端から計測、i) ii)ともない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 コース進行方向案内を設置する交差点については、上記の計測位置から7mの位置に設置する。 看板の設置位置は、i) 交差点の停止線から計測して3mの位置とする。i)がない場合は、ii)歩道の巻込み端から計測、i) ii)ともない場合は、交差道路の車道外縁部の延長線上から計測する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 1交差点辺り看板2箇所、路面表示2箇所とする。 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>			

(31) [c-4] 釣り人注意(対自転車)

名称・形式	c-4	釣り人注意 (対自転車)	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>釣り人注意 CAUTION ANGLER</p> <p>w60cmxh90cm</p> <p>路面表示</p>  <p>注意 CAUTION</p> <p>w45cmxh90cm</p> <p>注意 CAUTION ระวัง 주의</p> <p>w45cmxh120cm</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句 (主要な箇所では5ヶ国併記)</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 釣り人に注意することを促す 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 釣り人が多い地点・区間の前後に設置する。 連続して設置する場合は、現地の状況に応じて設置間隔を検討する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>	<p>-</p>		

(32) [c-5] 曲り角注意(防護柵)(対自転車)

名称・形式	c-5	曲り角注意(防護柵) (対自転車)	防護柵
サイズ 表記内容	 <p style="text-align: right;">出典:積水樹脂株式会社カタログ</p>		
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転落防止 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に流入河川手前の屈曲部に設置する。 ・ 夜間時の視認性の良い自発光式の製品を使用する。 		
設置イメージ			

(33) [c-6] 砂利道注意

名称・形式	c-6	砂利道注意	看板
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句（英語併記）</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文: モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p> <p>w60cmxh90cm</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 砂利道に注意することを促す 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 砂利道の手前に設置する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置, ただし, 看板が歩道の建築限界を侵す場合には, 看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>	<p>-</p>		

(34) [c-7] 車両進入禁止

名称・形式	c-7	車両進入禁止	看板
サイズ 表記内容	<p>看板</p>  <p>JIS: ... 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句（英語併記）</p> <p>w60cmxh90cm</p>		
役割	<ul style="list-style-type: none"> 車両進入禁止 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の自転車が入る禁止の区間手前に設置する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 標識柱の色は白系とする。 		
設置イメージ	-		

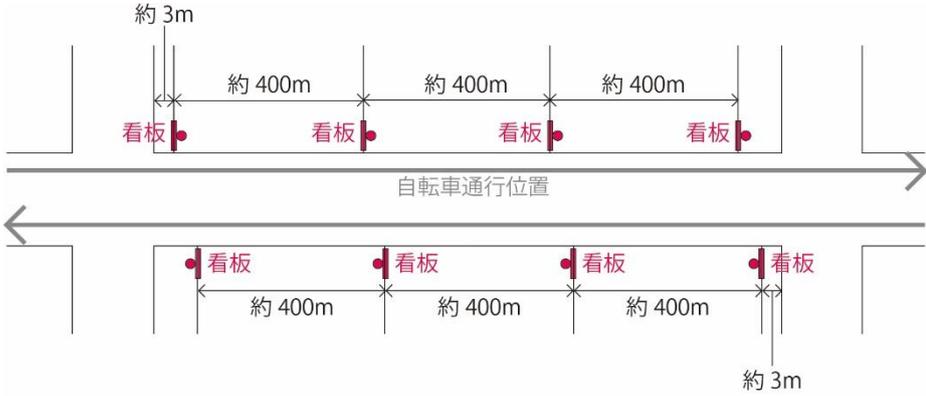
(35) [c-8] 幅員注意

名称・形式	c-8	幅員注意	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>幅員注意 NARROW</p> <p>w60cmxh90cm</p> <p>路面表示</p>  <p>注意 CAUTION</p> <p>w45cmxh90cm</p> <p>注意 CAUTION ระวัง 주의</p> <p>w45cmxh120cm</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句（英語併記）</p> <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句（主要な箇所では5ヶ国併記）</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅員が狭い区間において、注意を促す 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコース上の幅員が狭い区間の手前に設置する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>	<p>-</p>		

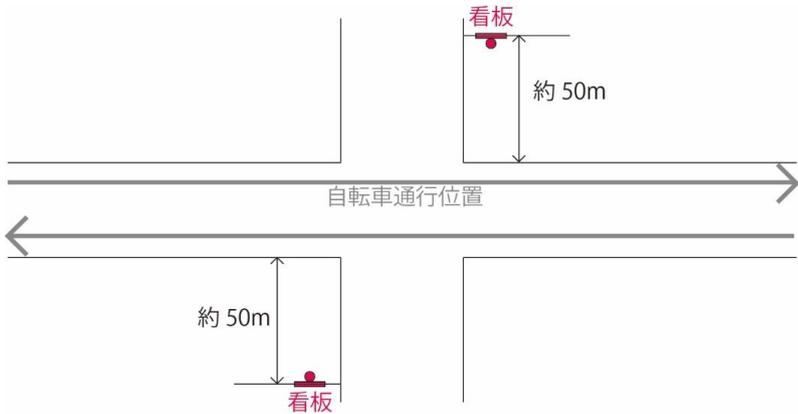
(36) [c-9] 勾配注意

名称・形式	c-9	勾配注意	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>w60cmxh90cm</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>w60cmxh90cm</p> </div> </div> <p>路面表示</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>w45cmxh100cm</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>w45cmxh100cm</p> </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <small>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</small> ●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold </p> <p style="margin-left: 150px;"> 注意を促す ピクトグラム 注意を促す語句 (英語併記) </p> <p style="margin-left: 150px;"> 注意を促すピクトグラム 注意を促す語句 (英語併記) </p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 勾配が急な区間において、注意を促す 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 勾配に注意する区間の手前に設置する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>	-		

(37) [c-10] 幅寄せ注意(対自動車)

名称・形式	c-10	幅寄せ注意 (対自動車)	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句 (英語表記)</p> <p>幅寄せ注意 CAUTION SIDESWIPING</p> <p>w60cmxh90cm</p> <p>路面表示</p>  <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句</p> <p>幅寄せ注意 CAUTION SIDESWIPING</p> <p>w45cmxh90cm</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーに対して、自転車が行き止まりのため、幅寄せしないことを促す 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自転車が一般道の車道左側を通行する区間において、交差点流出部の歩道の巻込み端(または、交差道路の車道外縁部の延長線上)から3mの位置を設置開始地点とし約400m間隔で設置する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>	 <p>約3m</p> <p>約400m</p> <p>約400m</p> <p>約400m</p> <p>看板</p> <p>看板</p> <p>看板</p> <p>看板</p> <p>自転車通行位置</p> <p>看板</p> <p>看板</p> <p>看板</p> <p>看板</p> <p>約400m</p> <p>約400m</p> <p>約400m</p> <p>約3m</p>		

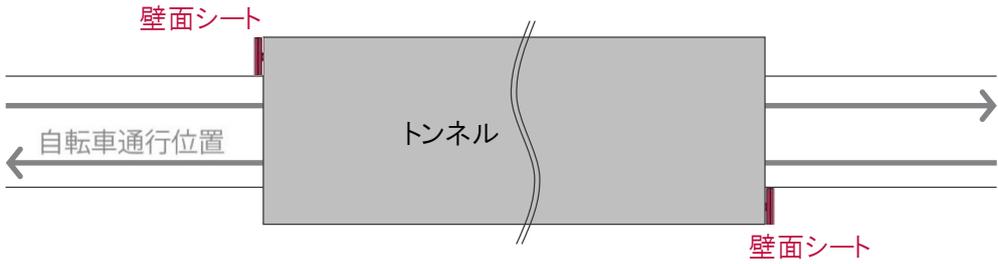
(38) [c-11] 横断自転車注意(対自動車)

名称・形式	c-11	横断自転車注意 (対自動車)	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句</p> <p>w60cmxh90cm</p> <p>路面表示</p>  <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句</p> <p>w45cmxh90cm</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文: モリサワ 見出ゴ MB31 欧文: Interstate Bold</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーに対して、横断する自転車がいるため注意することを促す 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコースとの交差道路が多車線道路である場合において、交差道路側の自転車が横断する地点の手前(50m程度)に設置する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>			

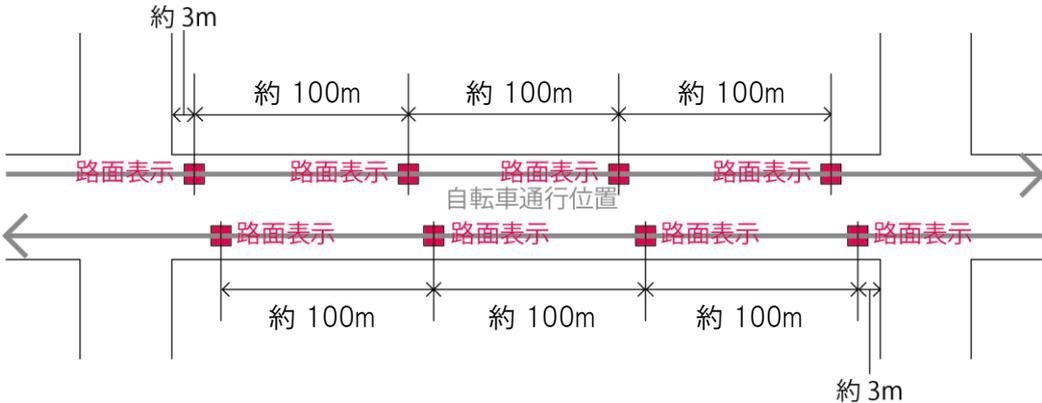
(39) [c-12] 自転車注意(対歩行者)

名称・形式	c-12	自転車注意 (対歩行者)	看板
サイズ 表記内容	<p>看板</p>  <p>●看板</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句</p> <p>自転車注意 CAUTION BICYCLE</p> <p>w60cmxh90cm</p>		
役割	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者に対して、自転車に注意することを促す 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコース上で歩行者の交通量が多く見通しの悪い地点・区間に設置する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 標識柱の色は白系とする。 		
設置イメージ	<p style="text-align: center;">-</p>		

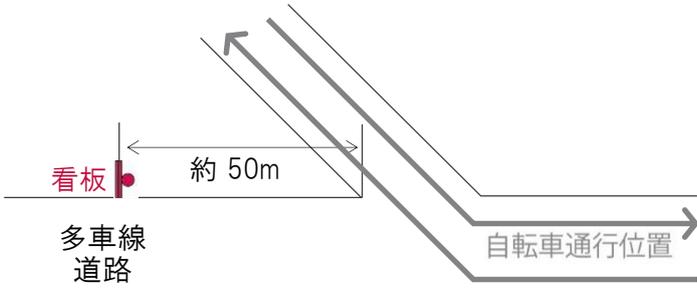
(40) [c-13] トンネルでの自転車注意(対自動車)

名称・形式	c-13	トンネルでの自転車注意 (対自動車)	壁面シート
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句</p> <p>w60cmxh90cm</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーに対して、トンネル内部の歩行者や自転車に注意することを促す 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の進行方向からみて、トンネル入り口の左側の壁面に設置する。 		
<p>設置イメージ</p>			

(41) [c-14] 双方向通行注意(対自転車)

名称・形式	c-14	双方向通行注意 (対自転車)	路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>路面表示</p>  <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句</p>		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者・自転車の安全確保のため、自転車に対して、自転車歩行者道等における双方向通行を指示 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 道路の状況等により適宜設置する。 		
<p>設置イメージ</p>			

(42) [c-15] サイクリングコース合流注意(対自動車)

名称・形式	c-15	サイクリングコース合流注意(対自動車)	看板・路面表示
<p>サイズ 表記内容</p>	<p>看板</p>  <p> ■ JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C ●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold </p> <p> 注意を促すピクトグラム 注意を促す語句 </p> <p>路面表示</p> 		
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーに対して、サイクリングコースと合流することを注意喚起する 		
<p>設置基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングコースと合流する多車線道路において、合流地点の手前(50m程度)に設置する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 標識柱の色は白系とする。 		
<p>設置イメージ</p>			

(43) [c-16] スリッパ注意(対自転車)

名称・形式	c-16	スリッパ注意 (対自転車)	看板
サイズ 表記内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>看板</p>  <p>W60cm x h90cm</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: 185 C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> </div> </div>		
役割	<ul style="list-style-type: none"> スリッパへの注意を促す 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> 道路の状況等により適宜設置する。 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置,ただし,看板が歩道の建築限界を侵す場合には,看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 看板を設置する場合,標識柱の色は白系とする。 		
設置イメージ	-		

(44) [c-17] 歩行者注意(対自転車)

名称・形式	c-17	歩行者注意 (対自転車)	看板
サイズ 表記内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>看板</p>  <p>W60cm x h90cm</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>JIS: 10B, V4, C10 Pantone: 3005 C</p> <p>JIS: 2.5Y, V8, C14 Pantone: Yellow C</p> <p>●フォント 和文:モリサワ 見出ゴ MB31 欧文:Interstate Bold</p> <p>注意を促すピクトグラム</p> <p>注意を促す語句</p> </div> </div>		
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車に対して、歩行者に注意することを促す 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の状況等により適宜設置する。 ・ 看板の下端が地表より1,800mmの高さとなるように設置、ただし、看板が歩道の建築限界を侵す場合には、看板の下端が地表より2,500mmの高さとなるように設置する。 ・ 看板を設置する場合、標識柱の色は白系とする。 		
設置イメージ	-		